

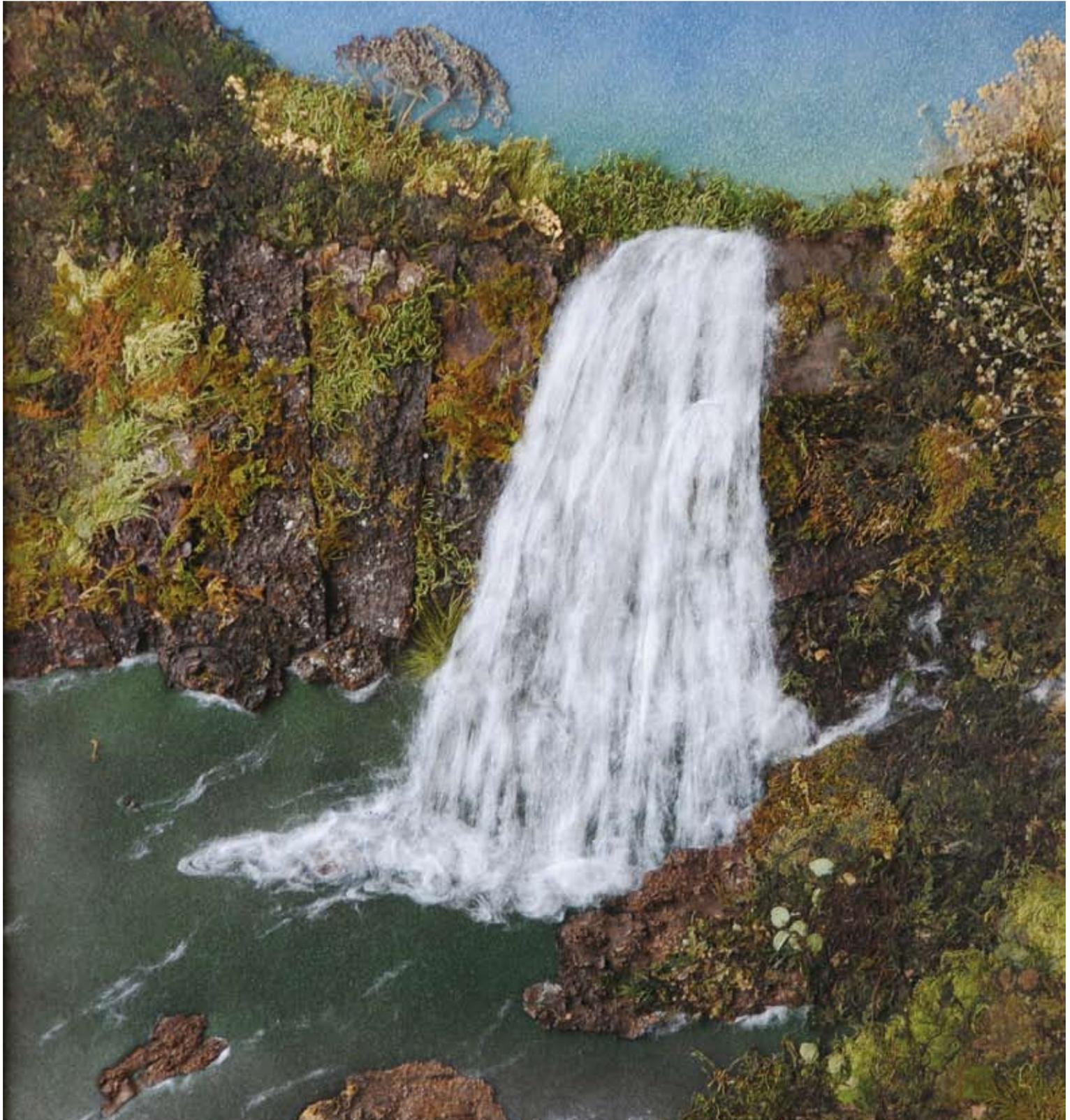


8

2011

広報たけた

自然・歴史・文化を育む 名水名湯田園観光都市 竹田市



新涼の滝しぶき (黄牛の滝・上坂田) 作・安松裕子 (押し花工房いちりん草)

# 疲労とストレスが消える！ 温泉の魔力

竹田市が挑む全国初の「温泉療養保健制度」。その確立に向けた動きが加速しています。4月から4か月を単位（フェーズ）とする長期滞在者向けの保健システム実証実験がスタート、検証を重ねながら制度の完成度を高めます。今回は7月をもって終了した第1フェーズの内容を報告し、第2、第3フェーズへの足掛かりを市民の皆様と共に考える機会にします。

## 利用者の平均像

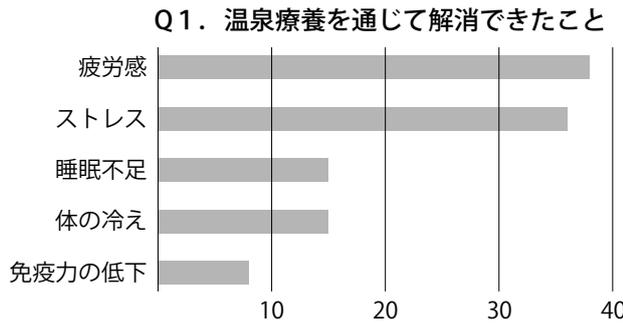
7月12日現在の給付申請者は82人。九州外から訪れた60歳以上が7割を超えます。

比較的時間を有し、中長期滞在を目的とする利用者の平均像は「竹田市内に5、6泊し、宿泊施設以外の入浴施設を2回利用した夫婦あるいは女性グループ」といえます。

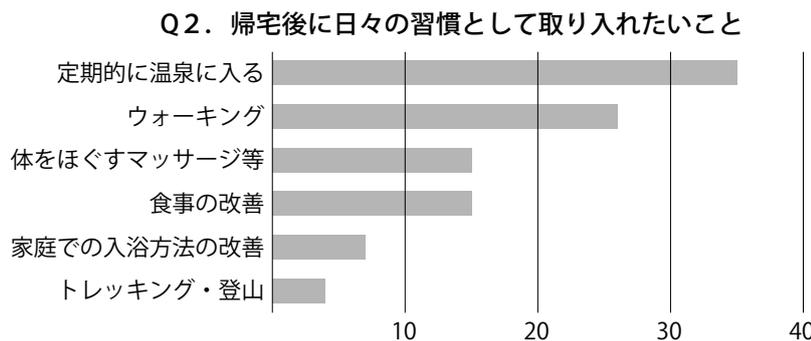
## 利用者の意見を探る

制度の質を高めるため、温泉パスポートの中で保健システムに関するアンケートのページを設け、提出を義務づけました。

滞在中の感想やシステムに関する意見は、合理的かつ使い勝手のよい洗練された制度へ生まれ変わるため、活用されます。利用者の声を紹介します。



A・滞在を通じ解消できたことは、疲労感やストレスなど感覚的な分野であることが分かりました。



A・温泉の有効活用が多く、連泊中に行ったウォーキングなども積極的に生活習慣に取り入れたいという意識がうかがえます。

### ■実証実験(第1フェーズ)の基礎データ■

【制度】温泉療養保健会員パスポートを取得した利用者が指定された宿泊施設に3泊以上宿泊した場合1泊500円を、入浴施設を利用した場合1回200円を助成。(上限14泊、入浴は1日2回などの規定あり)

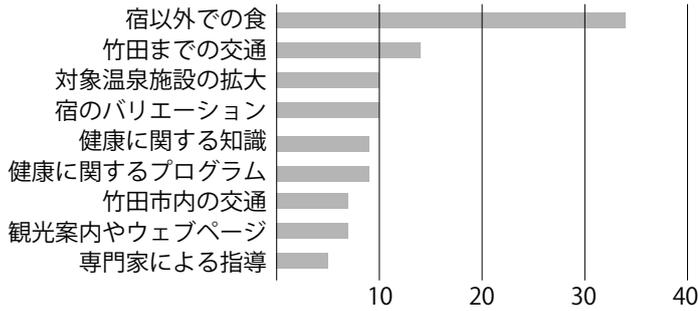
#### 【数値データ】

- パスポート取得者数…128人
- 立寄入浴回数の平均… 2回
- 保健適用申請者数… 82人
- 男女比… 男:女 = 6:4
- 平均助成金額… 3,121円
- 年齢… 60歳以上が73%
- 平均宿泊日数… 5.4泊
- 発地…九州外74%、九州26%



A・一番は「宿以外での食事」の充実でした。宿の豪華な食事だけでなく、健康的な外食を求める傾向がうかがえます。

Q3. 長期滞在をする場合、充実させて欲しいサービス



Q4 このシステムを使う以前「温泉療養保健システム」と聞いて、どのようなイメージや期待を抱いたか。(自由回答)

A・「お得な制度なのかなと思った」、「運動指導などがあるのかと思った」、「少し堅そうないメージがした」など、様々な回答が寄せられました。

Q5 この制度の使いやすさや独自性を人に勧めたり、また利用したいか。

A・9割以上の利用者から「はい」の回答をいただきました。

Q6 改善してほしいことや追加してほしい内容は。(自由回答)

～素朴な疑問に答えます～

温泉は本当に効くの？

九州アルプスに連なる竹田市には、古くから伝わる長湯温泉や七里田温泉のほか、赤川温泉、久住温泉、くたみ温泉、白丹温泉、竹田温泉、荻の里温泉など市内各地に新旧の個性的な温泉が数多く湧出しています。

貴重な地域資源であるとともに重要な観光資源でもあるこれらの温泉は、本当に効くのでしょうか。



温泉に入ると体温が上がり、免疫力が向上すると言われています。自律神経、ホルモンの分泌が整えられ良質の睡眠が得られるのも特徴です。温泉療養保健パスポートの「温泉利用術」の監修者で温泉学の権威、札幌国際大学の松田忠徳教授によると、温泉浴で増強されるHSP(ヒートショックプロテイン)が細胞を修復し、がん細胞やウイルスを消滅してくれると言うのです。

約60兆個という人間の細胞の中で、1日に何千と発生するがん細胞などを消滅してくれているのがHSPであると。通常のお風呂でも基礎体温が上がることで効果があるそうですが、温泉浴はその3倍以上の効果をもたらすと言います。特に3日以上のお湯治は生体リズムのゆがみを元に戻す、つまり体調を修復させるために効果的ということです。

まさに温泉は注目すべき代替医療「予防医学」なのです。



A・「手続きが面倒に感じるの、もう少し簡単にしてほしい」「継続してほしい」「利用可能な施設やサービスを拡大してほしい」「再来の予定があるので、繰り返し使える仕様にしてほしい」「長く滞在することになるので、その間滞在を楽しめるコースや特典を充実させて欲しい」といった意見が目立ち、大きな期待が寄せられていることが分かります。

温泉療養に期待される大きな経済波及効果

温泉療養に伴う中長期滞在は、観光産業だけでなく、様々な分野に経済効果を及ぼすといわれています。

滞在中の食事や余暇の活用、生活用品などの消費に加え、地産地消という点で、農業にも経済波及効果が期待されています。観光統計においても、一人当たりの県外日帰り客の観光消費額は約6千円であるのに対し、県外宿泊客の観光消費額は約2万2千円と大きな開きがあります。

旅行者の滞在時間が長ければ長いほど、観光消費額も大きくなり、宿泊日数が増すごとに地域に外貨が落ちる機会が増える好循環となります。1泊500円の給付が、地域経済に与える好影響を見逃してはなりません。「温泉療養」をキーワードに観光客をいかに宿泊に結び付け、いかに長く逗留してもらうかという視点が大事で、観光振興のみならず地域経済にとっても重要な課題といえるのです。



松田教授（左）が進行するパネルディスカッションで意見が交わされました。

パネリスト（右から）  
首藤勝次市長  
藤野博史氏  
宮内祥子氏

～温泉療養保健制度への挑戦を高らかに宣言～

## 全国温泉サミットin長湯を堂々開催

6月27日の前夜祭に続き、翌日竹田市直入町にある直入公民館で「第7回源泉かけ流し全国温泉サミットin長湯」が開催されました。日本源泉かけ流し協会や長湯温泉旅館組合などが主催したもので、当市では第3回サミット以来、4年振り2回目となるものです。

開会式に続いて阿岸祐幸氏と松田忠徳氏の基調講演が行われ、現代版湯治場再生をめざす参加者の耳目を集めました。

午後からのパネルディスカッションのテーマは「挑戦！温泉療養保健制度の可能性を探る」。フランスの温泉事情に詳しい宮内氏や医療ジャーナリストの藤野氏に首藤市長が加わり、それぞれの立場から議論が繰り広げられました。



## がんばれ！福島

サミットを締めくくったのは、福島県「高湯温泉」の「次回開催地宣言」です。厳しい時代を切り拓く勇氣ある宣言に対し、復興の願いも込められた大きな拍手が送られました。

# 進化したシステム 「第2フェーズ」がスタート

いよいよ8月から第2フェーズが始まります。第1フェーズを検証し、その改善点を探り、第2段階へとステップアップしなければならない大切な4か月間を迎えました。

主な改正点は次のとおりです。

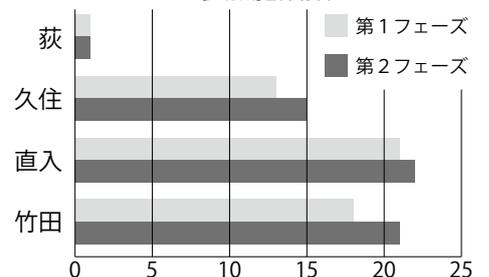
### 3連泊を期間内3泊に改正

- ・3泊4日は日程的に長いため、利用者がリタイア組にかたよる傾向がありました。
- ・今回の改正により、長期休暇が取得しづらい現役世代の利用が増えることが期待されます。
- ・毎月1回の宿泊など定期的に温泉療養に來ている方も新たに対象となりました。

### 申請を徹底的に簡素化

- ・温泉を有しない宿泊施設の利用も気軽に参加できます。
- ・保健給付申請にパスポート本体の提出は必要なく、切り取り可能なスタンプ印ページを申請書に添付するだけです。
- ・宿泊領収書（コピー可）の提出は今までと同様に必要です。

参加施設数



温泉療養保健制度に参加する施設も増加、全市的な取組みが進んでいます。

## 現代版「湯治場」再生

江戸時代から続く日本の湯治文化は、世界でも最先端の予防医学であったと松田先生は明言しています。

戦後は生活習慣が変化し、西洋医学が高度化するに従って、温泉のもつ療養価値は忘れられ、温泉に対する関わり方も娯楽化、レジャー化してきました。湯治文化は急速に衰え、温泉の持つ役割も様変わりしたのです。

現在、竹田市が推進している温泉療養保健制度は、こうした湯治文化を現代に適合させて提案するものです。

地球からの恵み、先人たちの知恵を存分に活かすことが求められています。

●お問い合わせ 竹田市商工観光課 6314807

# 消防防災拠点たれ!

## 新消防庁舎

昭和49年に建設された現消防庁舎は老朽化が著しく、平成20年度に行った耐震診断では、震度6強の地震に倒壊または崩壊する等の危険性を指摘されています。

竹田市は、副市長を委員長と

する「竹田市新消防庁舎建設検討委員会」を設置、7月15日に第1回委員会を開催しました。

同時に設置された「竹田市新消防庁舎建設懇話会」から出された市民の声を参考に、高機能消防通信指令装置の整備等も含

めた消防防災拠点たる新庁舎の建設が本格的に検討されることになりました。



### 耐震診断

## 木造住宅の無料簡易耐震診断を実施します

竹田市が、県・建築士会と協力して、ご自宅の簡易耐震診断を行います。

簡易耐震診断とは、正式な耐震診断ではありませんが、住宅のどのようなところに地震に対する強さや弱さがあるのかを調べることができるものです。

簡易耐震診断の結果が悪い場合、正式な耐震診断を受けることをおすすめします。

◇対象 昭和56年5月31日以前に建築された木造一戸建て住宅（併用住宅で、住宅部分の面積が1/2以上のものを含む）

◇日時 9月12日(月)～16日(金)  
(詳細な日時については、ご希望をお伺いしたうえで確定します)

◇募集戸数 5戸

◇申込締切 8月19日(金)まで

◇その他

- ・簡易耐震診断は、市職員等がご自宅に伺い、1時間程度で行います。
- ・ご自宅の図面がある場合は、当日ご用意頂けると短時間で実施できます。
- ・この簡易診断だけでは、木造住宅耐震化促進事業（改修）補助金は受けることはできません。

### ●お申込み・お問い合わせ

竹田市総務課行政係 ☎63-1111 (内線212)

※詳細についてはお電話ください

## 竹田雑感

東京大学景観研究室 修士2年 永井友梨

〜景観研究の立場から〜

20

5月の城下町再生フォーラムで半年ぶりに訪れた竹田は、やはり心癒される地でした。

丁度その頃色々なプロジェクトが立て込んでいて忙しく、研究室全体に疲労感が漂っていたのですが、竹田での週末を終えた出張組は揃っていきいきした顔になって帰京し、留守番組のメンバーに「いいなあ、竹田行きたいなあ」と羨ましがられました。この、元気になる力のようなものはどこから来るのか、不思議でもあります。

フォーラムはもちろん非常に充実した時間でしたが、正直なところ何よりも嬉しくかけがえない体験だったのは、棚田の田植えをお手伝い(というか、お邪魔というか...)させて頂いたことでした。

ジーパンの裾を捲つて田んぼの中に入り、柔らかい泥の感触を裸足に感じ、おつかなびつくり苗を差し込み、田植え機に乗らせて頂くと止め方が分からなくて慌て…。何もかも初体験でしたが不思議なくらい居心地がよく、こんなに癒されちゃって

東京の皆に申し訳ない、と真剣に思い切ろうと思えます。

収穫の秋を楽しみに、暑い夏

# 生き生き興起雇用創出大作戦！ 超高齢社会への挑戦



## パッケージ事業説明会開催

竹田市経済活性化促進協議会では、地域福祉・介護、健康づくりなど生活に密着した分野での人材育成や、バイオマスなど新たな産業創出を目指すことで、竹田ならではの雇用の場、起業・創業を支援する事業がスタートしました。7月11日～20日にかけて市内4地域で事業説明会を開催しました。

### 【人材育成セミナーのご案内】

人材育成セミナーの「健康運動インストラクター養成セミナー」及び「くらしのサポーター養成セミナー」のセミナー参加者を募集します。募集は、8月1日(月)からの予定です。詳しくは、ホームページまたは竹田市経済活性化促進協議会にお問い合わせください。

## 参加者・参加企業募集中！ 第1回就職セミナー&合同企業面接会

第1回就職セミナー&合同企業面接会を次のとおり開催します。就職セミナーでは、特定社会保険労務士による「就職にあたっての心構え」などのセミナーを開催します。また、地域企業と求職者のマッチングの場として合同企業面接会を開催します。多くの地元企業と面接ができます。企業にとっても人材確保の場となります。

開催日時 8月16日(火) 13:00～16:00 竹田市文化会館大会議室ほか

- |            |             |       |
|------------|-------------|-------|
| ①就職セミナー    | 13:00～14:00 | 小会議室  |
| ②合同企業面接会   | 14:00～16:00 | 大会議室  |
| ③個別カウンセリング | 14:00～16:00 | 小会議室他 |

開催要領や参加企業など詳細は、ホームページ、新聞折り込みチラシ等でお知らせします。

I・Uターンで竹田市での就職をお考えの方にぜひお伝えください。

詳しくは、竹田市経済活性化促進協議会 ☎62-2122

<http://taketa-syokuiku.org>

つくる、ふれあう、楽しむ、  
この夏は久住高原の大自然の中で  
クラフト体験

## 第8回 花公園クラフトフェア

お盆の恒例企画・お子様向けのワークショップ「花公園クラフトフェア」！イベント開催期間中、竹田市民のお子様は無料でご案内します。

期 間 8月12日(金)～16日(火)  
営業時間 8:30～17:30  
場 所 くじゅう花公園(竹田市久住高原850)

内 容 ・クラフト教室(自然木のクラフト作り、エコバック作り、コマの絵付け体験、ろくろ体験、カブトムシねん土、竹細工、陶器のアクセサリ、こけ玉づくり、ブリザーブドフラワー、リース作り)  
後 援 竹田市教育委員会  
●お問い合わせ  
くじゅう花公園(担当:後藤)  
☎76-1422  
(ホームページ)

※材料費必要

<http://www.hanakoen.com>

# 老後を安心して暮らすために

後期高齢者医療とは、75歳以上のすべての方及び一定の障害のある65歳から74歳までの方を対象とした医療制度です。この運営を行う「大分県後期高齢者医療広域連合」からのお知らせです。



## ○後期高齢者医療高額療養に該当している方へ お知らせの通知を送付します

後期高齢者医療の被保険者で、1か月の医療費が自己負担の限度額を超えた場合、申請して認められると限度額を超えた分が高額療養費として支給されます。該当する方には、お知らせの通知をお送りしますので、通知書が届いた方は申請の手続きをしてください。1度申請をすれば再度の申請は不要となり、該当の月があれば指定の口座に振り込みます。

## ○健康訪問事業にご協力をお願いします

9月上旬より後期高齢者医療制度にご加入の方を対象に、保健師が家庭訪問を行います。皆様のこれまでの生活習慣などについてお伺いしながら、今後の健康づくりや健康管理についてのヒントなどをお話させていただきます。お手紙で訪問日時等をお知らせしますので、ご協力をお願いします。

## ○還付金詐欺にご注意！

「キャッシュカード・通帳・印鑑」を渡さないでください。

全国各地で、還付金詐欺が発生しております。厚生労働省・日本年金機構・市町村・広域連合の職員を装い、「年金の払い戻しがある」「医療費の戻りがある」とキャッシュカード等をだまし取り、口座から現金を引き出されるなどの被害が発生しております。

不審に思われた時にはすぐに、保険課または後期高齢者医療広域連合までご連絡をお願いします。

## ○後発医薬品（ジェネリック医薬品）をご存じですか？

先発医薬品（新薬）の開発には、長い年月と、莫大な費用がかかります。そのため一定の期間、特許で守られており、値段が高いのです。一方、ジェネリック医薬品は、その特許が切れた後に発売されます。先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品で、先発医薬品に比べて低価格で手にいれることができます。

・先発医薬品より安価で、経済的です。

患者さんの自己負担の軽減、医療保険財政の改善につながります。

・効き目や安全性は、先発医薬品と同等です。

国では、後発医薬品が先発医薬品と同レベルの品質・有効性・安全性を有するかどうかについて欧米と同様の基準で審査を行っています。

まずは診察の時に医師や、薬剤師に相談してください。直接言いづらい方は、保険課窓口「ジェネリック希望カード」を置いていますので、希望カードを医師または薬剤師に提示してください。

【お問い合わせ】大分県後期高齢者医療広域連合 ☎097-534-1771（代表）

【申請窓口】竹田市保険課（国保・高齢者医療係）☎63-1111（内線135・136・137）  
及び各支所いきいき市民課



←旧宮城小学校(現在の宮城分館)  
古い校舎の面影を今も残しています

ドイツ文学者から贈られたメッセージ

## 『現代は文化が行政の キメ手でしようね』

突然ですが、瞑想にふける部屋に一枚のハガキを掲げています。

そこには、こう書かれています。『現代は文化が行政のキメ手でしようね』。

昨年の夏に、東京大学の教授であられたドイツ文学者、池内紀先生からいただいたものです。

さて、先般、東京で「ふるさと再生行動する首長会議」が開催されました。

この政策フォーラム、今回のテーマは「地域主権のふるさとイズムの構築に向けて」でした。3月11日の東日本大震災からの復興に寄せて、新たなふるさと創造について議論を深めたところです。今回の楽しみの一つは、地域遺伝子という言葉をお教えくれた早稲田大学の後藤春彦先生との出会いでありましたが、この議論の中、私が政策テーマに掲げている『基礎自治体の自立』という観点が議論の中心に据えられたことに、二重の喜びを感じたのでした。

依存から自立ということですが、「おまかせして、文句を言う」という風潮を正していかなければ再生はないと、警鐘を鳴らしていた講演者の言葉が印象的でした。そして、もうひとつのキーワードは景観や空間の魅力を意識する、ということでした。加えて、特色ある地域性を大切に思う心がふるさとを元気にするということでもありました。わが意を得たり、の感がしました。そして、すべてに通じるのが冒頭の池内先生の言葉、「文化がキメ手」であるということです。

竹田市は、文化・芸術の蓄積では他の追随を許さぬほどの力があると信じています。田能村竹田

先生や瀧廉太郎先生は言うに及ばず、この地を訪れた文化人も多く、また彼らの活躍の舞台になったケースも少なくありません。

昭和2年6月3日は、小説家の田山花袋先生が油屋熊八さんの案内で長湯温泉から城下町に遊び、それが文壇のうわさとなつて翌年には北原白秋先生が、さらに徳富蘇峰先生、野口雨情さん、椋鳩十さん、与謝野鉄幹・晶子夫妻らが次々に久住高原や長湯や竹田を訪れることになるのです。

一方、荻町には『いびきの研究者』として著名な池松武之亮先生が縁を結び、彫刻家の辻畑隆子先生も緑ヶ丘中学校に学ぶなど、全国区の人脈を得ることになるのです。

最近知って驚いたのは、現在宮城分館として使われている旧宮城小学校校舎が、昭和33年に瀧廉太郎を主人公とした映画『荒城の月』のロケ地としてスクリーンに登場していたということです。

歴史や文化をどう活かしていくか。岡城や城下町、高原や温泉は言うに及ばず、廃校や廃屋がかげがえのない貴重な歴史を有しているとしたら、これほど魅力的なことはありません。

そう言えば、ヨーロッパの町並みを歩いていたら、何の変哲もない古ぼけたアパートの煉瓦が欠け落ちていて、そこに一枚の銅板がはめ込まれていました。

その銅板には、『ここにゲート住みき』と刻まれているのですが、このたつた一枚のメッセージで、その町がとても魅力的に見え始めたのを懐かしく思い出したのでした。

### 「ふるさと再生・行動する首長会議」政策研究フォーラム ふるさと再生のために力を合せて

7月17、18日の両日、「ふるさと再生・行動する首長会議」政策研究フォーラムに参加しました。この「会議」は昨年9月、高齢化・過疎化が進む地域社会の「ふるさと」再生をめざす運動に賛同した市町村が参加して設立。この「ふるさと」再生とは、生まれ故郷の再生という意味に加え、日本の近代化の過程で失われてきた価値観、つまり「日本人の魂」そのもののことです。

今回50の市町村長が参加し「地域主権時代のふるさとイズムの構築」をテーマに議論を深め、ふるさと再生の政策課題を共有するとともに、諸問題の解決に向けて共に行動することを確認しました。



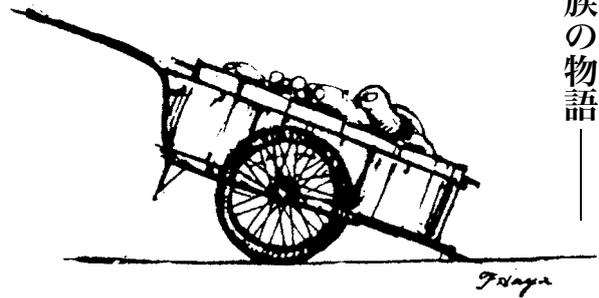
↑それぞれの市町村の政策課題を共有

夏休み特別企画 シリーズ・まちづくりの胎動が聞こえ始めた第3弾

子どもに読み聞かせたい、城下町竹田を舞台にした家族の物語――

# 盆地の町の野菜売り

文・衛本成美 絵・早川和



1  
いくつものトンネルをくぐりぬけて、ディーゼルカーが軽快な音を響かせながら、盆地の町の駅にすべりこんでいました。駅前に出ると、川底が自然の石だたみを造っていて、谷川のせせらぎがゆるやかに聞こえていました。そして、川の岩はだに寄り合うように家々が並んでいました。たいていの旅の人は、しばらく足を留めて、谷川の音に耳を寄せていますが、ふと、目に留まるのは、駅の広場に建てられた黒光りのする美し

## 今よみがえる、城下町竹田の情景

「盆地の町の野菜売り」(作・衛本成美)は、終戦前後の城下町竹田を舞台にした創作童話です。旧竹田市の「広報たけた」昭和54年4月号から昭和55年3月号にかけて連載され、城下町再生を掲げる竹田市として残しておきたい風景や、『古き良き竹田のまち』『家族の絆』等がたくさん描かれています。(文章、内容表現は当時のままで掲載をします)

今月8月15日で、終戦66年目を迎えます。この夏休みの機会に、ぜひ子どもたちに読み聞かせてみてはいかがでしょうか。

い乙女の裸像でした。この町の人や近在の人々は、さつさと通り過ぎていきますが、旅の人は、いつまでもその美しい姿に見とれていました。  
大正の中頃制作されたというこの像は、そのころの世相から、日の目を見ることもなく、久しく閉ざされていたようですが、制作者A先生のゆかりの地である、この盆地の町の駅前に置かれることになったそうです。

町には、土べいの跡があつちこつちに見られ、町はずれの絶壁の上には、高い石垣だけを残した荒城の跡が、その昔の偉容をしのばせてくれます。そこは、城下町にふさわしく、静かなたたずまいを見せていました。

――そのころ、いくつものトンネルをくぐりぬけて、黒煙をまくもくと上げながら、蒸気機関車が盆地の駅にすべりこんでいました。  
「お野菜はどうですか。お野菜はいかがですか」  
土べいのある通りを、近在の農家の主婦たちが呼び歩いていました。二つの竹カゴをにない棒でかついで、町言葉で呼びかけるうつつ向きかげんの若妻もあれば、もう、長年の経験らしいおばさん連中のゆつたりした声もありました。  
その中に、文明のリヤカーを引きながら、農家の主婦たちにまじって、野菜の行商をしているのが、弥作さんでした。農家の主婦たちは、たいてい自分で作った野菜を売り歩くのでした



が、弥作さんは、近所の農家からの野菜を買い集め、おばあさんの卵、おじいさんの山いもまでも頼まれて売り歩いていました。だから、一人前の商人らしく、腰には、どこかの商店からもらつたらしい①と染めぬかれた前垂れが結ばれていました。

「エー、お野菜に、卵に、山いもはいかがですか」

弥作さんの声は、もう全く板についてしまって、のびやかに流れていました。農家の主婦たちが、カゴの中に日用品を買い求めて、急ぎ足に帰っていくとき、弥作さんのリヤカーは、町の中をゆつくりとうねつていました。

「弥作さんや、男所帯もたいへんですな。けんど、娘さんが手助けになるじやろうなあ」

「へえ、もし。やつぱ女の子ですから、水仕事になりますと、わしより上手でしてな。へい」

「母親を早うに亡くしたんで、それだけ気もつきますじやろなあ」

「へえ、もし。早う親に捨てられたもんで……」

「弥作さん、ほんの一つじゃが、これを娘さんにあげておくれ」

だ菓子屋のおばさんは、新聞

紙の袋に、せんべいの五、六枚も入れることを忘れませんでした。弥作さんもまた、おまけにと、しゅんのもの一つ二つもおばさんの手におしつけていました。

弥作さんが町にやってくる道は、だいたい下り坂になっていきますが、山あいの道のことはいくつかの上り坂もあつて、そのうえ、ひどい、でこぼこ道もありました。荷物を積んだ、一

里半ほどの朝の道のりは、弥作さんにとつてたいへんでした。ところが、いいことに、二女の勝江がこの春から女学校に入學できて、朝の荷物の後押しや、下り坂の引き止め役をして

くれることになったのです。でも、「野菜売りの子が女学校に……」これは、弥作さん自身の周囲への気がねでもありました。

「勝江、後ろに付いてくれるだけがいいんぞ」

「でも、おとうさんは帰りもあるし、疲れるぞ」

弥作さんは、涼しそうな目を後ろにやりながら、セーラー服の勝江に話しかけていました。



て、幾重にもなつた田のあぜが山の上へ登つていきました。早くから水をためて、田植えを待つている田です。田の面が朝日に光つてその上をツバメが飛んでいました。

弥作さんの引くりヤカーの上には、まっ白い大根の膚と、みずみずしい色のカンランの球がまばゆいほどでした。

リヤカーの後押しをしたり、下り坂になると、綱を引いて、引きとめ役をしたりする勝江のそばを、同じ女学校の友だちが追い越していきました。自転車のベルを鳴らして、「おはよう、勝江さん」と呼びかけると、弥作さんは振り返つて、勝江の顔をうかがうようでした。中学校の男生徒がやってくると、弥作

さんは「おはよう」と、大きな返事をしますが、勝江は伏し目がちに、恥ずかしそうに、リヤカーへ手を添えていました。

「トンネルまでいいぞ。そこからぼつぼつ売りにかかるからう」

「おとうさん、いつそのこと町まで行つたらいいのに。うちが付いてあげられるのに」

「いいや。通り過ぎはいかん。ぶあいそになるからのう」

勝江は、いつもと同じこの言葉を聞くと、安心したようにリヤカーから離れるのでした。弥作さんのすがすがしい目が、しばらく、後を追いました。

「旗本屋さん、カンランの新しいのがありますぞ」

「ほう。カンランにワカメでも入れて、酢あえでも作りましようか。こうも蒸しますと、ごはんがのどを通りませんからなあ」

「おばあさん、うんと肥料をきかせてありますんで、柔かいカンランになつとりますぞ」

お得意先の旗本屋のおばあさんに、あいきょうの一つも忘れませんでした。

「勉強堂の奥さん、時無し大根のいいのが出ましたがな。す

り大根にしても辛くありませんで」

勉強堂のおじいさんが胃酸過多症で、大根の季節を待ちかねるようになさいそくしてました。

「秋大根に比べると風味がありませんけどな。それでも、胸やけにすり大根はてきめんですからなあ」

「そうですがな。胃が悪いというのに、今朝も早うから高菜漬けにお茶をガブリ、ガブリやりよりましてな、胃散を二さじもパクリとやるんですから」

「わしの高菜にやられたんですかな。こりやどうも……。そしたら、大きい大根でおまけをしときますぞ。すり大根ならすぐなおりますけん。ハツハツ……」

勉強堂の奥さんもつられて笑つてしまいました。

女学校の鐘が鳴っていました。弥作さんは商売の手を休めて、その澄んだ音色を聞き入っていました。

「勝江の学校の鐘でしてな。どこにいても、あの鐘は耳に入りましたよなあ」

「感心な娘さんですなあ。女学生じゃに、リヤカーなんぞ押して……。おかしがりもせずにな

あ

「そりや、中学生の男っ子の前じゃ、気がひけて、おかしそうにもしていますけんどなあ」

「女の子ですじゃろ。あたりまえですがな。だんだんおとなになつてゐる証拠ですがな、弥作さん」

勝江の話をしだすと、弥作さんの顔は、まるでえびす様のようにはころんでくるのでした。

「わしのかかあもあの世に眠つてしもうて。母親がないことじゃから、女のたしなみの一つでもつけておかにやと思ひましてな。こんな商売に女学校なんとはぜいたくじゃで、笑いものにもなりますけどなあ」

「弥作さん、亡くなった奥さんが、あの世でちゃんとみてくれておりますで。嫁に行つてる上の娘さんのことやら、その孫のことやら、満州に行つてゐる長男のことやら、勝江さんのことやら……」

「わしのこととも思うちよまりしようがな。ハッハッ……」

「そりや、第一番ですがな、弥作さん。ハッハッ……」

土べいの続く路地に、町の奥さんやおばあさんたちの笑い声がありました。弥作さんのリヤ

カーを囲んで、それは背の伸びきつた笑いでありました。

3

お城跡は石垣もかくれるほどに、葉桜や木々の緑に包まれていました。

松ぜみがジイージイと鳴いて、けだるそうに、荷馬車がバラス道の小石をくだいていました。

弥作さんの荷物は、今日は早じまいでした。からっぽのリヤカーを引いて、帰りのトンネルをくぐりぬけました。(いつもの半分も行かんうちに荷がしもうて、あいすまんことになつた。せめて声だけでもかけておくと……)

そう思いながら、頭を下げ下げ、路地の一軒一軒に、おことわりのことばをかけたことでした。

早じまいのことで、いつもの行李(りや)べんとうも、まだ開いていませんでした。

トンネルをぬけると、茶屋跡の杉木立の岩に清水がわいています。弥作さんは、コンニャク屋の若奥さんが包んでくれたトーフをわき水にひたしました。「お昼に食べてな」と、こつそりと包んでくれたトーフでした。

\*

「わたし一番よ」

「うち、二番よ」

「ワァ——のどがカラカラよ」

自転車のベルの音といつしよに、女学生らしいはしゃいだ声がしてきました。

「アラッ、野菜屋のおじちゃんよ。勝江ちゃんのおとうさんよ」

「おじちゃん、こんにちは」

息をはずませた三人の女生徒たちに、やわらかい光がさして、白いセーラー服がまばゆいほどでした。

「水飲みが一番はだれじゃな。早う飲みな。のどがかわいたじゃろ」

「フ、フツ、フツ……」

恥(は)ずかしそうに、それでも、わき水を両手にすくつて、のどを鳴らしていました。弥作さんは、涼しそうな目で、三人のうしろ姿に見入っていました。

「今日はどうして、早うひけたんかのう。勝江もあとをもどつておらんかのう」

「うん。おじちゃん、今日から試験でな、勝江ちゃんたちの一年生は、もう一時間あるんだつて」

「ほう。——なるほどなあ。ゆうべ遅うまで勉強しおつたのは、試験じゃつたからかのう。フーン……」

「勝江ちゃんはな、おじちゃん——この前の朝会で、校長先生からほめられたんで。町の人から、毎朝、リヤカー押しの加勢をする親孝行の生徒だと聞いたつて……」

「校長先生からのう」

「うん」

「友だちになつてやつてくれやのう。かわいがつてくれやのう。あいつにや、かあちゃんがおらんでのう」

弥作さんは、首のタオルをとると、そつと鼻をすすりました。

「おじちゃん、じゃ、お先に」  
三人は気をきかしたようでした。

「勝江もやがてもどつてくることじゃろう。どれ、べんとうを食べて、しばらく昼寝でもしておろうか」

そうつぶやきながら、リヤカーのゴザを杉山の日かげに移しました。

(自転車にも乗らずにのう。毎朝、毎朝、リヤカーを押してくれるんじやからのう。とびきり上等のズックぐつなんと買うてやらにやのう——)

弥作さんは、今日のもうけの分と思つて、白ズックを買っていました。フン、フンと、鼻を鳴らしながら、白い紙箱の上からおいをかいていました。弥作さんの顔は、いかにも満足そうでした。

(早う見せて喜ばしてやらにや。リヤカーを道においてあるんで、あいつも気がつくじゃろ)

べんとうの行李(りや)をふるしきにひつくと、ズックの箱を枕(まくら)にして、ゴロリと横になりました。またフン、フンと鼻を鳴らしていましたが、やがて眠りに誘われていったようでした。  
杉山のはずれを、奥山からの





谷川が静かな音を立てていました。カジカの鳴き声も聞こえていました。ヒヨロロ——、ヒヨロロ——と鳴いて、せせらぎの音にとけこんでいました。

杉木立の中は静かでした。弥作さんの真上で、松ぜみがときをつくつたように鳴いていました。

4

勝江は空っぽになったりや

カーを引いていました。リヤカーのうしろには、勝江のズックぐつの箱を大事そうに持った弥作さんがついていました。

「おとうさん、あんな所に一人で寝ると、山犬が来たり、まへびが出てきたりしてあぶないんです。それから、寝過ぎしてもしたら、暗くなって人さわがせになるがな」

「今日は特別じゃ。二年の姉ちやんたちが、一年は四時間の試験じゃと言っていたから、おまえのもどるのを心待ちしてたんじゃ。ズックぐつを買ったんでな。おまえに早う見せとうでな」

弥作さんは勝江のセーラー服のうしろ姿をながめながら、亡くなつた、勝江の母のことや、

隣の村の百姓に嫁にやつている長女のことなどを、思い比べもしていました。

「おとうさん」

勝江の声に驚いて、ふと足を止めた弥作さんの顔に、白いセーラー服がまばゆいほどに映りました。

「おとうさん、ズックぐつはまだはかれるんで。そんな高いのを買わんでもいいに。もつたないで」

「なんの、なんの。自転車も買おうてやらんかわりじゃ。それとなあ勝江——おまえ、校長先生からほめられたというじゃないか。毎朝リヤカーをおしてくるちゆうて」

「うん。だれが言つた、そんなことを」

「さいせん通つた二年の姉ちやんたちから聞いたんじゃ」

「全校生徒の前でな。ちよつと恥ずかしかった。でもな、おとうさん、うち、やつぱり仕事が行商じゃもんな。あたりまえのことだと思つたら、平気じゃつた」

「——」

「そう思うたらな、おとうさんのリヤカーおしが楽しくなつてきた。あしたもな、あさつても

な

「——」

「恥ずかしいことなんかありません。リヤカーについているときは、おとうさんとうちだけの二人の世界じゃもん」

「うん、うん。そうじゃのう」

道が下り坂になつてきました。いつのまにか、勝江の隣に弥作さんの肩が並んでいました。

「家について二人きりじゃけど、おとうさんにはおとうさんの仕事があるし、うちにはうちで、学校の勉強や炊事があつたし、ちくはぐじゃけどな」

「そりや、そうじゃが……」

「おとうさんと二人でな、こうして車を引いているときには、何も考えんでいいし、同じ話ができるもん」

「——」

リヤカーが、ときどき大きな石ころにのりあげて、そのたびにカタン、カタンと音を立てて



飛びあがりました。

「勝江、大久保店でアンパンを買つてやろう。いつしよに食べようや」

「なんでまた、そんな……。うち、腹は減つてないんで」

「甘いものを食べると、頭がよくなるちゆうに。あしたはまた試験じゃろ。いいんじゃ、食べさせたいんじゃ」

店の前には馬車が二台止まつて、馬が桶のえさをまぜかえしていました。店先に止まるのが

恥ずかしくて、勝江は知らんふりを通り過ぎようとすると、

「弥作さん、今日は早えのう。娘ん子もいつしよかの。へっへ……」

コップ酒をかかえた馬車引きのおつさんの声でした。

「おう、早じまいじゃ。おばあ、アンパンを十ばかり包んでくれんかなあ」

「あい、あい。試験がようでく

るように、アンパンを食べさせにや。なあ、弥作さんや、孝行娘じゃきに」

「弥作さんよう、町でも評判の女学生じゃと言いつつたぞ」

「ふんじゃ、ふんじゃ。へっへ……」

馬車引きのおつさんの浪花節声が道路いっぱい広がつていました。勝江は恥ずかしくなつて、逃げるようにして先へ急ぎました。

阿蘇の煙が雲になつて、久住の山の方へと流れていました。

「あしたは雨になるかもしれん」と、弥作さんはひとりごとを言いました。お城跡の方へ向けてホトトギスが鳴いていました。

5

県道からそれて、リヤカー一台しか通れない道にはいると、弥作さんは「ドッコイショ」と、田のあぜに腰をおろしました。

「勝江、なにしよるんか。用心せんと、まへびが出るぞ」

白いセーラー服が杉山の中をちらちらしていました。

「早う来んか。一服しよるんじゃ。アンパンも買つておるんぞ」



「おとうさん、あのな、箱根ゆりがいっぱい咲いているんでえ」

弥作さんは、アンパンの包みを破つて、リヤカーの上に置きました。

勝江の手に、大きな筒のゆりの花が抱かれていました。

「そうか。もう、ゆりの花が咲いているんじやのう。気がつかないでう」

「今日はおあさんの命日じやろ。帰りにお墓にさしてあげようと思つて」

「そうじやのう。いいことにアンパンも買つてある」

勝江は、ゆりの花を顔にあてると、フン、フンと、においを

かいているようでした。そのしぐさが、また弥作さんの目をうるませたようでした。

「勝江、今日は阿蘇が荒れているようじやのう。煙が流れているのう」

勝江もつられて、二人は、しばらく遠くの阿蘇に目をやっていました。

「——姉ちゃんも女学校に行かなかつたし、兄ちゃんも中学校に行かんで、満州の鉄道に行つてしようたし、うちだけが女学校にやつてもらつて、もつたいのうて——」

「あのころは、かあさんの病気のこともあつたしのう」

「おとうさん、うち、ときどき、学校をやめようかと思つてみたりする……」

「勝江、勝江——おとうさんの楽しみはなあ、人なみにおまえを女学校にやれることだけじやが……」

「でもなあ——」

「かあさんもない貧乏行商人にや、女学校なんかぜいたくかもしれないが、今のおとうさんの生きがいじや」

「兄ちゃんも少ない月給から月謝を送つてくれているし、もつ

たいなくて、うち、早くお金とりになりたい——」

「そうか。あと三年して、うんとお金をとつて、酒の一本でも買つてくれるか。そりや、そうと、勝江は女学校を卒業すると、何になるんかのう」

「この前な、兄ちゃんからの手紙に、満州の鉄道病院の看護婦に來ないかと書いてあつた。試験があつてむずかしいぞ。と書いてあつたに——」

「兄ちゃんのいる満州に行くか。船に乗つて、朝鮮海峡を渡つてな、釜山に着くと、特急列車ですぐじやからな」

「うん」

「若いうちから、大陸に夢を求めて、大きな希望を持つこともいいことじや。見よ、阿蘇から久住にかけて大きいぞ。満州は、山がなくて、もつと、もつと広いというからのう」

「でも、おとうさんひとりになつてしまうと、さびしくなるじやろ」

「さびしゆうないぞ——さびしゆうないぞ。それみよ、おまえのほうから先に心配しだしたじやないか」

「やつぱり、おとうさん、うち、女じやもん」

勝江がクス、クスツと笑いだすと、弥作さんも満足そうに、

今度は、とても涼しそうな目で、勝江のほうを見やりました。

「どれどれ、今日はゆつくりしてしようた。けんど、勝江と久しぶりに話しこんで、よかつたよかつた」

「二人きりのときがいちばん楽しい」

「そうじや、そうじや」

勝江が、ゆりの花を持つと、弥作さんがリヤカーを引きました。ゆりの花の大きな筒がゆれるたびに、ふんわりとしたお

いが、軽い息づかいをしているかのように流れてくるのでした。

「かあさんの生きていたころも、うちが生まれたころも、ゆりが咲いていたんじやろ。なあ、おとうさん」

「お殿様の昔からあつたんじやから。箱根ゆりというてなあ」

「そんなこととちがうんよ。——かあさんのおいがしてくるんよ」

「——」

旗本屋のおばあさんは、毎年のことながら、名月が近づくと、ろになると、弥作さんに念おしをしていました。

「タクワン漬けの大根を四斗ダル三ちよう分頼んでおきますで、弥作さん」

「へい、へい」

「紺屋の明後日ことばになりませんようになあ、弥作さん。ハツハツハツ……」

紺屋のおかみさんと弥作さんの笑い声が、路地いっばいに広がりました。

弥作さんは、エンピツをねぶり、ねぶり——ハタモトヤ（名月） ヨウヤ（タクワン三）と、手帳に書きました。

「勉強堂の奥さん、間引き菜があります。カボスもあります。おじいさんの胃酸過多症には酢あえがいいですからなあ」

「エーエー。けさから胃が燃え」と言いよりましてなあ」

勉強堂のおじいさんの胃酸過多症に、弥作さんは、すり大根のジアスターゼや、酢あえのことまで話しました。

大根や白菜が、弥作さんのリヤカーにいっぱい積まれて、その後ろをセーラー服の勝江が、綱を引きながら下っていました。



弥作さんのはく息も、勝江のはく息も白くなるころ、盆地の町に冬のしたくが始まっていました。

「あしたになったら、もう、独りのできる。せんとくもする」  
「勝江、なに言うんか。女じゃから無理ないが、せんとく物は、おリンばあさんがしてくれ」と言いよつたぞ。心配せんではない」

久住おろしと町の人は呼んでいました。里の方では、いものつるも、クヌギの葉も、いつべんにカラカラになって、しばらくは、この冷たい久住おろしか

「おとうさん、もういい。あんまりこすると痛いがああ」  
「待て、待て。うんとこすつておかんと、ゾーツと寒気がするんじゃ」

らよけるように、山仕事に出かけ、炭を焼いたり、一年間のたき木を準備したりしていました。

（女学校三年生ともなると、すつかり大人びたからだつきになって……。死んだ母にそっくりなからだつきになって……）  
「おとうさん、いつまでこすつているんな」  
「う、うん……」  
「おとうさん、今度は、うちがこすつてあげる。おとうさんは前垂れを結んでいるんで、首から手を入れんな」  
「ああそうか」  
弥作さんが、首をニュートとのぼすと、勝江は思わずクスツと笑いました。

ここ二、三日ひどく吹き荒れていたお天気も、どうやら静まって、久住の山がうつすらと白い姿を見せていました。

「ほう——今日はなんでもない日じゃにのう。十二月八日といううと、なにかあるかのう」  
弥作さんは、町の中で、アメリカ・イギリスと日本が戦争を始めたことを知りました。ひつきりなしにラジオがそれを伝えていました。そして、戦果のニュースの合い間に、うきうきさせるほどに、軍艦マーチが鳴っていました。  
「たいへんなことになりましたなあ」  
町の路地には、弥作さんのリヤカーを囲んで、小さな声がありました。



「おとうさん、もういい。あんまりこすると痛いがああ」  
「待て、待て。うんとこすつておかんと、ゾーツと寒気がするんじゃ」



団の集まりから帰る途中、勝江の家に寄って来ました。

「おじさん、山羊などの一銭のもうけにもならん家畜を飼って、みんな笑うじやろうが、忙しい農家で、栄養の自給自足には、草を食うて、人間の食いかすで、乳と卵をこしらえてもらうことも、ひとつの理屈じやと思うてな……。おじさん、米と麦と畜産と、それに、おじさんの野菜をとり入れた農業を考える時代が来る」

いろいろのそばで、ひぎを組みかえながら、ほおを輝かしながら話す武のそばに、勝江は、「うん、うん」と、うなずいてお茶を入れてやりました。「勝ちちゃん、女学校の勉強はお

もしろいかい。英語も代数ももしろいかい」

——勝江は、この間の夜のこを思い出していました。ヤカンのお湯が、シューンと、時々音を立てていました。

「お父さん、もどつたんな。うち、ぐっすり眠ってしもうた」  
「そうか。さいぜんもどつた。山羊の乳をわかしてやるぞ。おカユもできるぞ。熱があると、おカユに梅干しがいいからのう」

「武ちゃん、何をしていたんな」

「桑畑の中じやつた。お見舞いと云うてな、乳も卵もくれたんぞ」

「——うち、よくなったら、手袋を編んであげよう。お父さんに毛糸を買ってもらつてな」

「えり巻きもいいぞ。武に聞いてみたらいいじやないか」

「お父さん、どちらがいいか、聞くもんがあるかな。黙つてあげるもんよ」

「ハッハッ……」

かまどのそばで、パチン、パチンと、たき木を折る音がしていました。暗くなったので、か

まどの火が、障子の向こうに赤く映っていました。勝江は、また、うとうとと眠り入ったようでした。

「勝江、いいにおいがするじゃろ。乳がわいてきたぞ、ほら」

8

ここ二、三日ふぶきどおしだった天気も、けさがたからおさまつたようでした。さつき、おリンばあさんが雨戸をくつてくれたので、朝の光がまぶしいほどに、勝江の寝間いっばいに広がっていました。

「勝ちちゃん——お父さんがのう、荷もほんの少しじやから、お医者さんの先生に薬をもらうたら、早うもどつてくると云うて出たぞ」

「そうな。——おリンばあちゃん、けさは寒いんじやろ。霜柱が立っているんじやろ。さつき、ばあちゃんの足音がザック、ザックとしていたもん」

「わしの足音がどうしてするもんか。わしは、かまどの前にずうつといたんじやから……」

「でもな、さつき、足音が聞こえたんで。おかしいなあ。うち、夢をみていたんかな」  
「武ちゃんの夢でもみていたん

じやろ。武ちゃんはいいい青年じやからなあ。兵隊に行つて、戦争がすんでもどつてきたら、ばあちゃんが大きな声でヨイヤナ節を唄うてやるからのう」

「ヨイヤナ節、だれの？」

「わかつたことじやないか。武ちゃんとおリンばあちゃんにな、ヨイヤナ節と。ハッ、ハッ、ハッ……」

ふすまがあいて、おリンばあさんが入つてきたようでした。勝江はおリンばあさんの笑いに、思わず恥ずかしくなつて、ふとんで顔をかくしていたところで

した。「勝ちちゃん、おいしいミソ汁ができたぞ」と、まくらもとでおリンばあさんのかん高い声がありました。

「勝ちちゃん、ほらつ、卵を二つも入れてあるんじやが……。武ちゃんが持つてきてくれたんぞ」

「武ちゃん、いつ来た？」

「ほらつ、さつき足音がしたろ。あれは、わしのじやのうて、本物の武ちゃんの足音じやが……」

「武ちゃん、どうして声をかけてくれんじやつたん？」  
「わしがとめたんじや。眠っているじやろうと云うてな。悪

かつたかのう」  
「う、うん。悪いことないでえ」  
ヤカンがシューンと鳴っていました。

おリンばあさんは二日とおかずに、勝江のまくらもとにやつて来ては、弥作さんにはできない女物の洗たくをしてくれました。勝ちゃん、なんも心配せんでいいんぞ。女が女の洗たくをしてやるんじやからな」と、ひざまずいた腰を畳につくほど曲げて、勝江の顔をのぞきこんでいました。

「うんと食べて、安心して休んでいるとすぐなおる。若い者はなおりがいいからのう」  
「医者先生がな、女学校をし





ばらく休学してゆつくり養生したほうがいいと言ってくれた」「そうか。お父さんの話じゃ、ロクマクを病んでいると言うてたじゃ」

「うん、それでは、用心したほうがいいって……」

「そうか、そうか。すぐなおる。——薬師如来様、どうか勝江をお助けくださりますように。フツ、フツ、フツ」

おリンばあさんは、唱えごとのあとで、おまじないの強い息を吹きました。

「昼にまた来るでう。温うなつて洗たくに来るからう。それから、武ちゃんが下の桑畑で仕事をしているんで、あとで会いに来ると言うてたぞ」

そう言い残して、おリンばあさんは帰っていききました。

メエー、メエーと山羊の音がしていました。「武ちゃんの山羊だわ」と、頭を上げて、勝江は次の声待ちました。メエー、メエー。おだやかな小春日和でした。

勝江は、久しぶりに障子を開けて、外の空気を胸いっぱい吸いました。裏の森で、ピー、ピーとヒヨドリが鋭く鳴

きかわしていました。

「タケシちゃん、タケシちゃん」

「おーい。カツエちゃんかい。気分いいかい」

「うん、いいよ。お茶がわいてるよう」

「もうすぐ行くからなあ——」

勝江は、まぶしそうに手をかざしていました。山羊がまた鳴きました。

9

「勝ちゃん、勝ちゃん——起きてるんか」

「うん。起きてるよ、ちよつと待つて」

勝江が寝巻きをととのえて、障子をあけると、大きなドンブリ鉢をかかえた武がそこに立っていました。

「今、しばったばかりじゃ。山羊の乳は栄養があるからな。フキンはどこにあるんか。こしてあげるからな」

「ちよつと待つて、持つてくるから」

「もう一つドンブリ鉢を持つて来な。勝江ちゃん、お父さんは町に出たんか」

「うん。久しぶりに野菜を持つてな。そして、葉をもらって帰

る——」

二人は、ドンブリ鉢の上にフキンを広げて、白い乳をその上にそそいでいました。

「ずつと顔色もよくなったようだな」

「そうかしら」

「勝江ちゃん、女学校を休学するんか」

「さあ——。お医者先生の、そうしたほうがいいと言うてくれるけど」

「休学してもいいじゃないか、女学校では、今はもう、奉仕隊で、あつちこつちの農家の手伝いや、食糧増産で働いているそ

うじゃないか」

「戦争の中に病気を患うて、悪いみたい。みんなお国のために働いているとき、うち一人がやつかい者になつてしまつて……」

勝江は、そう言うて、クツクツと息をつまらせて、寝巻きのそでに、顔をうずめてしまいました。

「一億総決起じゃからな。おれたちも、もうすぐ戦争に行か

にやならん。みんな戦争のためにあるようなもんじゃ。勝江ちゃん一人ぐらい、戦争のため

にない人がいてもいいじゃない

か。うんとやつかい者になり

きつて、病気をなおすんじゃ。元氣を出すんじゃ」

「——」

「ほうれ、いいにおいがするじゃろ」

武がドンブリ鉢の乳を勝江のそばに寄せると、「ああ、いいにおい」と声はずませて、もうすつかり気をとりのおした顔

が、武の方へほほえみかけていました。

「武ちゃんだけそう言うてくれる。武ちゃん、うち、国賊じゃないね」

と、今度はその鋭い目が武の方をにらんでいました。

「だれも好き好んで兵隊に行つたり、勉強もやめて動員に行つたりしているもんか。病気の勝江ちゃんが国賊というんなら、おれが二倍も三倍も働いてやる。国賊とは誰が作つた言葉か」

裏の椎の森に冬の日が沈もうとしていました。ヒヨドリが鋭い声で鳴き交わしながら、ねぐらを求めて、ざわついているようでした。

「武ちゃん、武ちゃんは兵隊に志願して、戦争に行くの」

「うん。じつとこうして百姓を

している、どこかの軍の工

場に引き出されるといふからな

いっそのこと兵隊に行こうと思

うんじゃ」

「——」

「勝江ちゃん分まで働いてきてやる。国賊なんち言うやつに見せつけてやらア。ハッハッハッ……」

「武ちゃん、今日、おリンばあちゃんが来てな……。ああ、おかし」

「どうしたんか」

「戦争がすんだらな、おリンばあちゃんがヨイヤナ節を唄ってくれるつて」

「ほう。ヨイヤナ節とはなんかなあ」

「——」

「——」

「——」

「——」



「ほら、お嫁さんを迎えた時に  
唄うじゃないの。あれよ。ホッ  
ホッ……」

「それがどうかしたんか。お嫁  
さんなんか考えるよゆうのある  
時代じゃない。みんな死んでし  
まうんじゃない。国のためにな」

「武ちゃん！死んじや、イヤ。  
——うち、戦争が終わるまでに、  
きつと元気になる。武ちゃん、  
死んじや、イヤ」

勝江の呼吸が荒くなって、の  
どの奥を突き破るように、ゴホ  
ン、ゴホンとせきこんでしまし  
た。それは、とめどない涙を散  
らしていました。

「勝江ちゃん、元氣を出すん  
じや」

「ハイ。武ちゃんもな」

また寒くなるのであろうか、  
裏の椎の森に、はげしく、西の  
風が吹きつけていました。

村の中には、年とつた者と、  
女と子どもだけが残って、若い  
者はみんな戦争へとかり出され  
てしまいました。

朝鮮海峡にもアメリカの潜水  
艦が出没して、下関と釜山の連  
絡船も、日本の海軍の船が付き

10

添って渡るような危険にさらさ  
れていました。海軍の船も、敵  
の潜水艦の前には、なんともた  
よりないほど、戦争は日本に  
とつて不利になるばかりでした。

島づたいに一步一步、日本は、  
本土決戦以外に道はないほど  
攻め込まれていました。そして、  
今、沖繩を最後のとりでにして、  
はげしい戦闘がくり広げられて  
いるのでした。

「おとうさん、そこにいるん  
な」

「うん、ちゃんとここにいろが  
な」

「うち、満州に行っている兄  
ちゃんの夢ばかりみるに……」

「どこかで生きているじやろ  
うぞ。元氣じゃから、夢に出てく  
るんじゃない」

弥作さんの行商も、もう、  
とつくとだえて、町の人も、  
弥作さんの野菜など忘れてしま  
うほど、それよりも、イモやカ  
ボチャなど、腹のたしになるも  
のを求めていました。

「勝江、おとうさんな、ここに  
いるから心配せんでいいぞ。勝  
江のそばを離れりやせんから」  
弥作さんは、勝江の寝床から  
障子越しのカマドの前で、ぼん

やりと、キセルをたたくだけで  
した。

「おとうさん、武ちゃんは内地  
を出て、どこに行つたんじやろ  
か」

「さあ——うまくどこかの島に  
渡れたらいいがのう。潜水艦に  
やられたら、ひとたまりもない  
からのう」

「うとうと眠っていると、空を  
ブンブンと飛行機が飛んでいく  
——」

「アメリカの飛行機じゃ。北九  
州の製鉄所をねらつて飛んでく  
るんじゃない」

「ここなら大丈夫じゃなあ。椎  
の林に囲まれて、おとうさんと  
二人じゃから」

「うん。でもな、区長さんから



の話で、裏の山に穴を掘れとい  
うことじゃ。勝江と二人でかく  
れる所をな」

勝江は聞くとともになしに、ただ  
ポツンと天井をながめて、力の  
ないせきをからだ全体では、  
フーフーと、はげしい呼吸をし  
ていました。

「コイの生き血がいいと聞いた  
んで、コイとりの初さんに頼ん  
でおいだ。スツポンガメの生き  
血もいいということじゃ。なん  
でもしてやるから……」

「おとうさん、うちのことより、  
兄ちゃんや武ちゃんのことじゃ  
心配で……」

「——」

「ボロボロの服を着て、青白い  
顔になって……。ただ、夢に出  
てくるに」

「夢は逆夢というてのう、二人  
とも元氣でいる証拠じゃ。それ  
よりも、勝江と、こうして二人  
でいると、いつかいい時がやつ  
てくる。きつとくる」

弥作さんは、首から垂らした  
手ぬぐいの端をとつて鼻をつま  
むと、かがんだひざがしらに顔  
をあてて、クツ——クツと、ひ  
きつったようでした。  
「勝江、もうすぐ治るんじや。  
もうすぐ治るんじや」

身もだえしながら、手ぬぐい  
をにぎりしめた手を、はげしく  
ふるわしていました。

勝江の静かな寝息がスースー  
と聞こえてくると、弥作さんも、  
カマドの前にうつ伏したまま、  
しばらく寝入つてしまいました。

「おとうさん——おとうさん。  
そこにいろん」

「う、うん。ああ、眠つても  
うた。ちつと冷えてきたのう」

「手ぬぐいをかして。寝汗をか  
いた」

「そりや、いかん。カゼをひく  
が……」

「おとうさん、また武ちゃんの  
夢を見た。武ちゃんが南の島  
から胸の葉を持つて帰つてくれ  
るつて。煎じて飲むといつぺん  
に治るつて」

弥作さんは、勝江の背中に手  
ぬぐいを入れて、さすつてやり  
ました。

「おとうさん、戦争がすんだら、  
元氣になつて、うち、武ちゃん  
のお嫁になれる——」

「うん、うん。いいお嫁になれ  
るぞ」  
二人の顔がほころんでいまし  
た。



夕暮れどきの涼しい風が渡って  
いました。高原から吹きお  
りくる風は、ひと足早い秋のお  
とずれを感じさせるようでした。

昭和二十年八月十五日——

益地の町のムツとする暑気の  
中に、あわただしい人の足があ  
りました。大通りにも路地にも  
コソコソと、人目をうかがうよ  
うな町の人の顔がありました。

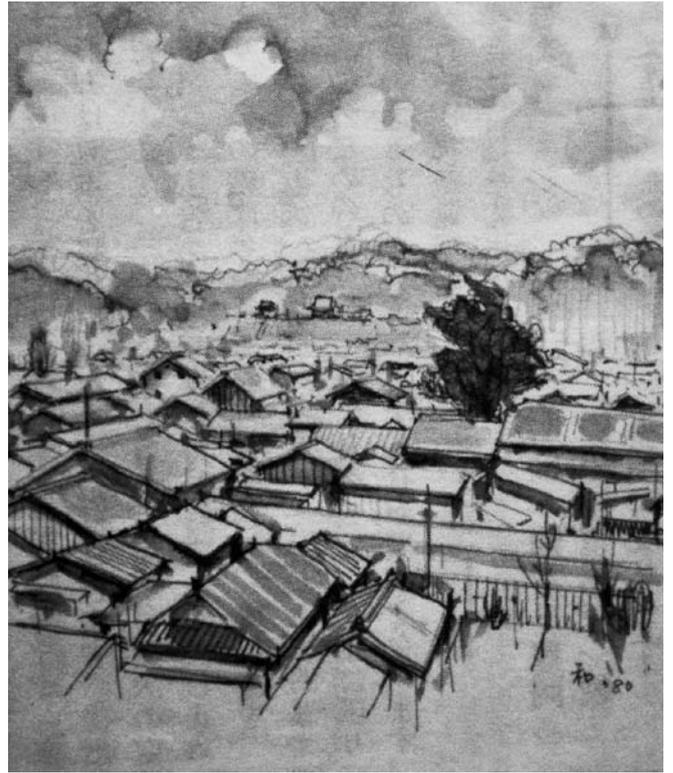
医者してくれるわずかばかりの  
薬をふところに、弥作やさくさんは町  
から家へ急ぎました。白いバラ  
スの道には人の姿はありません  
でした。うつろになつた弥作さ  
んの心にも、勝江の病氣と、満  
州に渡っている長男の作太郎の  
消息が入りまじって、歩く足は  
フラフラと、よろめくことも  
ありました。「おれだけでも、  
しつかりしておらにや」と、ふ  
と、足を止めた弥作さんの耳に、  
いつもと変わりのないカジカの  
声や、ツクツク蝉せみの鳴き声があ  
りました。

「勝江ヤ——勝江」

「うーん、お父さん、帰った  
ん」

それは弱々しい勝江のせい  
いっぱいの返事でした。

「日本は戦争に負けたんぞ。町



のラジオで聞いたんぞ。作太郎  
のことが……」

「兄ちゃん、どうかしたんぞ」

「う、うん。いいや、なんでも  
ない。心配せんていい。満州で  
生きちよるんじや。生きちよる  
んじや」

「武ちゃんは？」

「生きちよるんじや、生きちよ  
るんじや。みんな生きちよるん  
じや」

村から出ていった若者たちは、  
それこそ敗残兵はいぜんへいのように、み  
すぼらしい姿で帰ってきました。  
それでも、戦争が終わって、静  
かな空気に包まれた村がありま

した。

戦死の公報が、まだ帰ってこ  
なかつた武たけしの家にもありました。  
村にあつた名誉の戦死というお  
墓も、ひっそりとたたずんでい  
ました。

戦争の終わった、その秋の暮  
れ、勝江は、弥作さんに抱だき  
かかえられるほどのやせ細つた  
身で、ごく身うちの者だけに見  
守れて息をひきとつてしまいま

した。肺病という病気が、近所  
の人たちへも気がねするほどの、  
あわれな死に方にしてしまった  
のでした。

弥作さんと、勝江さんを産ん

ですぐに亡なくなつた母の、その  
母にあたるおばあさんと、勝江  
の姉フミコが、石炭酸のにおい  
のする死の床とこにあるだけで、近  
所の人たちは、遠くの方で葬式  
の手はずをしてくれるだけのこ  
とでした。

「弥作さんやあ、線香せんこうをうんと  
たいてくれやのう。石炭酸の  
おいじや、勝江も浮かばれんか  
らのう。おしろいもつけんで死  
ぬとはのう……」

と、おばあちゃんは、勝江の  
髪の毛をかき上げてやりました。  
「わしが悪かつた。わしが勝江  
を殺したようなもんじや。リヤ  
カーのあと押しをさせたのがも  
とでのう、こんなことになつて  
しもうた」

「ちがう。お父さん、ちがう。  
戦争さえなかつたら、勝江も薬  
を飲んで死ぬこともなかつたに。  
作太郎も行方知れずにならん  
かつたに」

「運が悪かつたんじや。これも  
運じや」

「運が悪いと一口で言うには、  
あんまりひどい。なあ、お父さ  
ん——だれかが悪いんじや。そ  
の悪いやつに勝江も作太郎も

……」  
「……」

### 平和を祈る黙とうを捧げましょう

竹田市では、先の大戦や原爆で亡くなられた多くの方々を想い、また日本および世界の平和を願って、次の時間に1分間のサイレンを吹鳴します。

市民の皆さんも、この趣旨をご理解いただき、平和を祈る黙とうを捧げていただきますようお願いいたします。

- 広島平和記念日 8月6日(土) 8時15分
- 長崎原爆の日 8月9日(火) 11時2分
- 終戦記念日 8月15日(月) 12時

「この若い身で死ぬとは。なあ、  
お父さん、あきらめきれん」

姉のフミコが畳をおさえつけ  
て、歯ぎしりをしていました。

「なあ、フミ。悪いやつとは  
わしのことじや。勝江にはな  
あ、好きな人がいたんじや。戦  
死した武たけしじやつた。死ぬまで武  
のことを言いとおした。あの世  
でいっしょになれんこともねえ。  
そう思えば、少しは氣も楽にな  
る。悪いのはわしじや」

「ちがう、ちがう。悪いやつは  
うちにはおらん。よそにいるん  
じや」

「フミ！バチあたりめが……。  
ひと様に何の罪があるというん

か」  
「……」  
「もう言うまい。グチになる。なあ、フミ、もういい」

12

けさから雨にまじって、小さい白いものが見えていましたが、それが大きな綿雪わたゆきに変わってきただようです。

盆地の町にひどく雪の降ってくる朝でした。  
弥作やさくじいさんはリヤカーを引いて、けさもトンネルの坂道を下り、盆地の町に野菜を運んできたのでした。

——三月の忘れ雪とかいうが、ひどい雪になるかもしれないのう——と、けさの空と、山をながめながら、そうつぶやいていま



したが、もう長年の行商がしみついてしまつて、何やら準備した荷物を運んできたのでした。

戦争が終わつて、長い歳月が過ぎました。盆地の町もすっかり移り変わつて、アーケードの下に、豊富な品物が美しく飾られていました。

町のスーパーや、野菜屋さんの店先には、季節の野菜はもちろんのこと、季節はずれの野菜までもいっぱい並べられていました。弥作じいさんの四十年來の行商にも、長い歳月の移りがありました。高冷地栽培とかハウス栽培とかの野菜が、今では、弥作じいさんのリヤカーにも積まれていました。

近所の農家から品物を買ひこ

んで、新鮮なうちに町へ運ぶことから、弥作じいさんのリヤカーを待ちうけるお得意さんが、今でも残っていました。

「このお婆あちゃんが、大根をよく買うてくれましてな。おじいちゃんが胃酸過多症いさんかたじょうで、すり大根を喜んでおりましたからなあ」

勉強堂の若奥さんに、そんなあいきょうの一つもみせることを忘れませんでした。漬け物にと、季節の青物あおものを欠かさず頼まれていた旗本屋の前に、今も、弥作じいさんのリヤカーが止まっています。

「もう四十年も、町のみなさんにかわいがつてもううておりましてなあ……」

これは、きまつて弥作じいさんの口から出ることばでした。それは、盆地の城下町の人たちに、長い歳月の移りを感じさせないほどの美しいことばでした。

リヤカーの上にも雪が降りかかつて、大根や白菜の葉を白くしていました。

「奥さん、きょうは安うさせてもらいますでな。早うかたづけ、先を急ぎませんと、降りこめられてしまいますでな」

「おじいさん、そうしてもらわんでもいいですがな。これは本降りになりますじゃろ。高校生も早う引けておりますようで」

アーケードの下を急ぎ足の女生徒たちが帰っていました。弥作じいさんは足をとめて、一団を見送っていました。

三十年前に亡くなった勝江のセーラー服姿が、ふつと、よみがえつたようでした。

「奥さん、ジンチョウゲがにおつておりますなあ。一枝くださらんかなあ。明日は娘の命日めいじちじゃでなあ」

「おやすいことで。娘さん、という……」

「あんな服を着ていた女学生のころ、もう三十年前に亡くなつたんです——」

「そんな娘さんがいたんですか」

「へい、へい。長男もおりまして、これは終戦のどきくさで満州でわからなくなりました。」

娘の好きな青年もいましたが、これも、南の海で船といつしよに沈みました……」

駅前駅前の橋のたもとまでくると、車のわだちを残して、もうだいたいぶん積ぶんづみっているようでした。

——あしたは命日じゃけど、このぶんじゃ、町に出られんかもしれん——

勝江の命日は、月々に一度ずつめぐつてきます。そして、弥作じいさんには、そのとき、そのときの思いごとがかけめぐつてきます。

橋のらんかんに丸く積もつていく雪がありました。駅前の裸像も、もう白くおおわれていました。

——勝江よう、あしたは雪で来れんじやろうのう——

弥作じいさんは、いつものように話しかけると、リヤカーを引きながら、駅前を右に折れていきました。(完)

衛本 成美 えもと なるみ

1924年、当時の大野郡千歳村に生まれる。1944年、熊本市の陸軍工兵部隊で兵隊従事。1949年、教職に就く。臼杵市、旧大野郡(三重、緒方、朝地ほか)の各中学校にて勤務。退職後はPTA連合会事務局長を務める。著書に「だんごじる先生」、「渡し舟のあった川」など。豊後大野市三重町在住

「豊後竹田の駅に降り立つと、『荒城の月』の音楽と、駅前の乙女の像が迎えてくれます。——戦争の頃がありました。リヤカーを引いて、高原の村から町へ、野菜行商に来るおじいさんがいました。戦争と平和ということから、この物語を書いてみました」(衛本成美)

竹田市民なら知っておきたい！



岡城の魅力再発見 ①

岡城を築城したのは

緒方三郎惟栄？

岡城は、文治元年(1185)豊後武士団の頭領であった緒方三郎惟栄が、源頼朝と仲違いをしていた義経を迎え入れるため築城したと云われます。

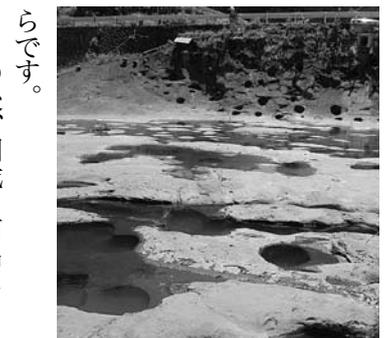
緒方惟栄は、祖母大明神を祖とおおぎ、大蛇の末裔と称する豊後大神氏の子孫で大野郡緒方荘司でした。

岡城築城説前年の元暦元年(1184)惟栄は、平家方の拠

点となっていた宇佐神宮焼き打ちの前代未聞の大事件を起こしています。源頼朝の平家討伐に大功を立て恩赦を得ますが、平家滅亡後の後白河法皇と頼朝の対立により文治元年、惟栄は源義経の謀反に従ったとして、摂津国(兵庫県)大物浦から出航中に捕らわれ、上野国(群馬県)沼田荘に配流されたのでした。

さらに、南北朝期の建武の頃(1333~38)に志賀貞朝が築城したとする説、さらに同時代の康安2年(1362)に少式冬資が岡城築城に起因する説などがありますが、前二説は中世史研究者によって否定されており、後者も疑問視されています。

そして、歴史上に城として姿を現わし始めるのは、大野荘志賀村を出身地とする志賀氏(北志賀氏)が、応安2年(1369)以降に直入郷の検断職を得てか



↑柱穴が残る滑瀬橋跡(白滝川)

この後、岡城を有名にしたのは戦国時代末期の天正14~15年(1586~87)の、島津軍の豊後侵攻(豊薩戦争)に際して、豊後南郡衆が島津軍に内応・投降した中であつて、岡城主志賀親次は、滑瀬口からの島津軍の猛攻に堪え、岡城を天下の嶮城たらしめたのでした(「大友興廃記」)。当時の主要城郭は現岡城跡の東部の廟所跡・下原口あたりであり、挾田・十川の村落がいわゆる「まぼろしの城下町」であつたのです。

「国の登録有形文化財」の登録へ

旧竹屋書店、竹田市民館竹田分館、塩屋旧大蔵

国の文化審議会(西原鈴子会長)は7月15日、当市の「旧竹屋書店 店舗兼主屋・土蔵」、「竹田市民館竹田分館(旧一味楼)」、「塩屋旧大蔵」を含む、新たに178件の建造物を国の登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申しました。



↑旧竹屋書店



↑塩屋旧大蔵



↑竹田分館

史跡 岡城跡公開 検討委員会を設立へ

「撤退の危機」を「飛躍」への一歩へ!!

岡城会館は11月末で営業が終了になります



↑岡城跡の駐車場にある「岡城会館」 背景には、岡城跡西の丸石垣がそびえる

市から借り受け、昭和49年に完成しました。

以来37年間、「岡城跡」に登城する観光客の皆さんの憩いの場所として愛されてきました。

会館は11月末に営業を終了し、建物は翌年2月末までに取壊される予定です。

市としては、8月中旬に検討委員会を設立します。

この会館は、市民にとっても思い出の詰まった施設。同時に、市民の誇りである『岡城跡観光』における重要な場所のひとつでもあります。竹田らしい魅力あふれる拠点となるように、跡地利用は早急に取り組んで参ります。

国指定史跡「岡城跡」の駐車場にある岡城会館は、施設の老朽化や観光客の減少等の理由により、今年11月末をもって営業を終了されることになりました。岡城会館の管理・運営をする岡城開発センター(板井良助社長)は、昭和48年(1973)に竹田商工会議所の会員ほかによって設立されました。土地は



# 愛情を込めた ブラッシングが大事ですね

大会前、生まれて初めて見に行った牛の『市場』。思い描いていた光景が目前に広がり、感動に包まれる。松尾健太さんにとって、それは「牛」に、完全にハマる瞬間でした——

第62回日本学校農業クラブ全国大会(家畜審査競技会「肉牛の部」)に出場する

松尾健太

(大分県立三重総合高校久住校3年・都野中学校出身)

6月22日に開催された大分県選考会において、松尾健太さんが最優秀賞に輝き、10月25、26日に長崎県島原市で行われる全国大会出場権を獲得しました。競技内容は、試験場から準備された牛4頭を制限時間内に審査し、最も良いと思われるものから順位をつけ、その中からまた部位についても同様に行われます。

大会前には、農家をまわったり、市場にも足を運び、牛を『見る目』を養っています。

また、松尾さんの家では、牛を飼っていることもあり、影響を受けて育ち、将来は畜産関係の仕事に就く『夢』を抱いています。

全国大会では「久住校に貢献できる成績を残したい」と静かに燃やす闘志。大きな希望の星は、全国大会の空で誰よりも光り輝くことでしょう。

## 輝け！竹田の星

この夏、全国大会・九州大会に出場する方々をご紹介します。市民のみならずの熱い応援を！

### 竹田の『色』を捉えて

竹田高校民俗部は「第9回国高等学校民家町並フォトコンテスト」全国大会(民家の甲子園) (7/31・石川県小松市)

に3年連続出場。

「竹田は昔のもの」と今のものが異和感なく共存して、包み込むようなやさしさのある町。この町の魅力や素晴らしさを多くの方に知ってもらうために頑張りたい」と野仲部長。



↑重松華澄(2年)、野仲隆幸(2年)、廣橋昂希(2年) [敬称略]

### 未来が変わる集中力の一手

「第35回全国高等学校総合文化祭将棋部門・第47回全国高校将棋選手権大会」(8/4~5・福島県郡山市)に竹田高校将棋同好会が出場。3年連続出場となる堀まこと部長(3年)は「1試合でも多くの勝ちを取りに行けるよう努力をしたい」と語ってくれました。



↑【団体】堀まこと(3年)、橋元杏奈(3年)、衛藤友希(3年) 【個人】大久保美菜恵(2年) [敬称略]

### 魅せる「漢詩の世界」

「第35回全国高等学校総合文化祭吟詠詩舞部門」(8/7・福島県会津若松市)に竹田高等学校書道・吟詠部が出場。

「書道は自分の個性を出せるのが魅力。本番では思い切った自分たちの書道をもせたい」と小池部長。一字入魂にすべてを賭ける！



↑【個人】板井香奈恵(3年)、小池真利奈(3年) [敬称略]

### 直入少年剣道クラブが九州大会出場へ



直入少年剣道クラブは、8月20日から福岡市で開催される「第31回九州ブロックスポート少年剣道交流大会」に出場します。直入少年剣道クラブ(監督・松尾直哉 指導者・大塚幸惠、内田郁) 広橋滉太郎(4年)、田辺真(5年)、松尾晃太(5年)、吉野空(6年)、工藤知葉(6年)、田辺優(6年)、山田舜陽(6年)、広橋満美子(3年)、松尾紘斗(2年) [敬称略]



↑昭和初期、「竹田甚句」などの民謡は市民にとってはなじみの深いものでした（写真提供/後藤幸子）



↑親しみやすい振付で「竹田おどり」を踊る竹田市舞踊連盟をはじめとした踊り子のみなさん

## 「竹田踊り」で市民の心をひとつに

竹田踊り（新竹田甚句）

採譜・橋本俊太郎 作詞・伊藤信一郎  
編曲・佐藤文男 振付 竹田市舞踊連盟

豊後山里 竹田のまちは  
春は桜の 花に浮かぶや 岡城趾  
コリヤコリヤコリヤ さの花の城

豊後山里 久住のまちは  
夏の夏越の 山車でにぎわう 山のまち  
コリヤコリヤコリヤ さの飾り山

豊後山里 荻のまちは  
秋は紅葉を 水に浮かべる 白水の滝  
コリヤコリヤコリヤ さの散紅葉

豊後山里 直入のまちは  
冬は長湯の 湯の香ほんのり 湯上がり美人  
コリヤコリヤコリヤ さのお湯の花

豊後山里 竹田のまちは  
ミヤマキリシマ 祖母とくじゅうと 湧く清水  
コリヤコリヤコリヤ さの里自慢

伝統文化を後世に残すため、合併後の竹田市民がみんなで踊れる民謡をつくらうと、平成8年に市民の手で復活した城下町の民謡『竹田甚句』を基調に、新たに歌詞と振付をつけた『竹田踊り（新竹田甚句）』が完成し、披露会が7月11日、竹田市総合社会福祉センターで行われました。

竹田市盆踊り保存会の佐藤文男会長は「みんなで歌って踊れる民謡の誕生を渴望していました。今回の竹田踊りは、1番から4番は旧1市3町を謳い、5番は新竹田市全体を謳っています。みんなで歌って踊って、ひとつの大きな輪になれたらという思いが込められています」と話していました。



↑料理教室では「ちらしずし」や「鶏ごぼう汁」などをみんなで楽しく調理

## 「キッズサミット in 竹田」開催！

子どもたちに国際感覚を身につけてもらおうと、立命館アジア太平洋大学（APU）の学生たちを竹田に招き、岡藩城下町400年プレ事業「キッズサミット in 竹田」が7月3日、竹田市総合社会福祉センターで開催されました。

今回、市内の小学生（4～6年生）41名が参加し、「押し花体験」や「郷土料理体験」等を通して、国際交流を図りました。



↑廉太郎少年像の前で合唱する梅木副市長と「瀧廉太郎の歌をうたう会」のみなさん

## 竹田は心のふるさと

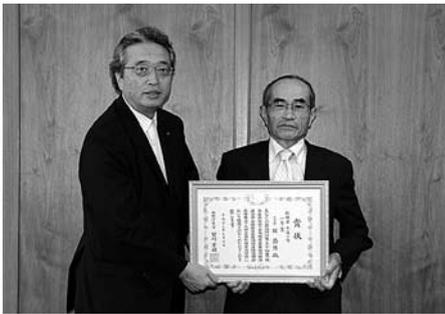
また、命日の29日には、廉太郎の母校・竹田小学校で、顕彰行事「瀧祭」が行われました。この日全校児童で歌った「荒城の月」はビデオレターとして、先の大震災で被災地となった姉妹都市仙台市の土井晚翠氏ゆかりの小学校に届けられるそうです。

## 楽聖・瀧廉太郎を偲ぶ

また、命日の29日には、廉太郎の母校・竹田小学校で、顕彰行事「瀧祭」が行われました。この日全校児童で歌った「荒城の月」はビデオレターとして、先の大震災で被災地となった姉妹都市仙台市の土井晚翠氏ゆかりの小学校に届けられるそうです。



↑「荒城の月」を歌う竹田小学校児童のみなさん（竹田小学校体育館）



↑「晩年になってから、収穫時期がわかるようになった」と語る堀さん。努力の積み重ねがすべて。

6月24、25日の両日、静岡県藤枝市で開催された「第59回全国乾椎茸品評会」の乾椎茸冬菇の部において、大分県椎茸農協理事の堀恭博さん(滝部・72歳)

## 堀恭博さんが 4年連続林野庁長官表彰の快挙!

が4年連続となる林野庁長官賞(二等賞)を受賞しました。

堀さんは、長年椎茸栽培に励み、独自の発想と研究、そしてたゆまぬ努力により、高品質乾椎茸の生産技術向上に努めてきました。

「多くの方からお祝いと励ましの言葉をいただき、ますます来年に向けて、意欲が沸いておられます」と、喜びを語ってくれました。

また、この大会で大分県は、団体が13年連続45回目の優勝を果たし、堀さんのご活躍が原動力となりました。



↑市内中学生・高校生による意見発表

## 広めよう!社会を明るくする運動

7月9日、ふれあいと対話で明るい社会を築いていこうと、『第61回社会を明るくする運動竹田市民大会』が竹田市総合社会福祉センターで開催されました。この大会は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めていくことを目的としており、広報ビデオ観賞や市内中学・高校生による意見発表等が行われました。

## 未来を描く「まちづくり工房」開催

竹田市の将来像を、そこに住む市民自らが考え、意見を交わす「第1回まちづくり工房」が7月15日の萩地域を皮切りに市内5か所で始まりました。(写真は17日の直入会場) テーマは「日常生活でのお困りごとと後世に残したい風景」。班ごとに話し合ったそれぞれの地域の魅力と不満(強みと弱み)が発表され、参加者の情報共有が図られました。

この工房は計3回、今後9月と11月にも行われ、貴重な意見は本年度策定する都市計画マスタープランや景観計画に反映されます。



↑活発な意見交換が行われた直入会場

そして、エコミュージアム構想の根幹をなす城下町再生に大きな影響を与えることになるでしょう。

将来の竹田を描く絶好の機会ですので、今後も市民の皆様ので積極的な参加をお願いします。



↑竹田高校ラグビー部の首藤幹陽主将

## 首藤幹陽さんが 全国高校合同 ラグビー大会出場へ

今年3月に行われた「九州高等学校10人制ラグビー大会」の活躍が認められ、全九州チームのメンバーに選ばれた竹田高校ラグビー部主将・首藤幹陽さん(3年)。

7月25～28日に長野県上田市・菅平高原国際リゾートセンターで開催される「第7回全国高校合同チームラグビー大会」に出場します。

ポジションがセンターの首藤さんは「ラグビーはパスをつなげることが大事。自信を持ってプレイし、チャンスを作りたい」と意気込みを語ってくれました。キラリと光る活躍を期待しています。



6月25日、愛知県名古屋市内で「東海地区豊後竹田会」が開催され、山本英次会長ほか15名が参加。竹田からは後藤真志竹田高校同窓会長、西山竹田高校教頭、竹田市商工観光課長が出席し、竹田市の現況や、竹田高校の現在の取り組み等を報告しました。

## 東海地区から 故郷への熱い思い

※竹田北部選挙区については、得票順、その他の選挙区は、

## 竹田市農業委員会委員が決定

7月12日、竹田市農業委員会委員当選証書付与式が行われました。当選者は以下のとおり(敬称略)

- 【竹田東部選挙区】本田賢二、大塚博士、吉岡孝士、古澤俊孝
- 【竹田西部選挙区】佐藤典二、甲斐英一、斎藤文雄
- 【竹田南部選挙区】渡辺恭介、佐藤一博、廣瀬章司
- 【竹田北部選挙区】渡部修身、長野幸生、古庄京子、麻生 定
- 【萩選挙区】後藤紀美昭、山村和男、池永寅生、工藤房士、赤木孝男、山本昭雄
- 【久住選挙区】神田定義、吉村政文、伏田誠一、首藤強、佐藤哲雄、志賀一幸
- 【直入選挙区】郷 悟見、森田牧男、大塚正勝、大塚征典

# ぼくたち・わたしたちの学び舎

## 城原小学校

### かがやけ18人〜人との交流を通して〜

城原小学校は、校歌にあるように祖母山、久住山そして遠くには阿蘇山に囲まれた自然豊かな学校です。その中で、子ども達は毎日、体をきたえ、智をみがき、足なみそろえて（これに校歌にあります。）学習に、生活にはげんでいます。

今年、城原小では、城原を知り、城原を愛する子どもを育てるとともに、『人との交流』に積極的に取り組んでいます。一例として、「田んぼの先生」七名をお迎えしての田植えがあります。先日、苗の植え方などを教えていただきながら、無事に終



↑大分トリニータ選手との交流



↑被災地である仙台の小学校に送ったビデオレターは、大きな反響を呼んだ

えることができました。今回植えた稲は、稲刈り、収納（しゅうな）を経て、11月の「城原つ子フェスティバル」の中でおにぎりとなります。地域の方、お家の方、そして子ども達みんな、収穫の喜びを味わいます。次は、サッカー大分トリニータの選手・コーチとの交流です。普段野球に打ちこんでいる城原小の子ども達に、プロスポーツ選手とふれあう経験が生きるだろうと考え、県の事業に申し込み、実現しました。ゲームを通じた運動、選手・コーチへの質問など楽しい時を過ごしました。

また城原小の子ども達もニュースを見て仙台市の子どもの様子を知らることができると、交流の輪が広がりました。城原小では、これからも学校内で子ども達に力をつけさせるとともに、地域の方やお家の方として様々な経験をしてきた方との交流をすすめていきます。城原小の子ども達18人が、将来にわたってかがやいていけることを願って。  
(深田敏彦)

質問「試合で緊張しないようにするには？」

答え「練習を積み、自信を持つことです。」

など、今後に生かされるような素敵な(?)やりとりもありました。

3つ目は、竹田市と音楽姉妹都市である仙台市の小学校との交流です。あの東日本大震災が起きた後、子ども達から励ましの歌声をビデオレターにして送ろうという意見が出ました。そのビデオレターを竹田市仙台事務所の所長さんが受け取りに来てくれたり、その様子が向こうのニュースで放映されたりしました。

# 朝倉文夫博物館

(71)

東洋のロダンといわれ、竹田市の名誉市民第1号でもある朝倉文夫は豊後大野市朝地町に生まれました。明治16年のことです。10歳の時に衆議院議員朝倉親為の弟の養子となりました。

彫刻家であり、兄である渡辺長男を頼って上京して東京美術学校に進みます。38歳で美術学校の教授となり、高村光太郎と並び称される彫刻家になります。

昭和23年には文化勲章を受章し、33年に日展の顧問となつていきます。多くの人に惜しまれながら昭和39年に81歳の生涯を終えています。

市内にある幾つかの作品を紹介いたします。竹田市文化会館玄関前に『生誕』、ロビーに『三相』があります。竹田駅前



↑彫刻家 朝倉文夫

## 東洋のロダン 朝倉文夫

『時の流れ』市役所前の『翼に続け』が知られています。人物では、岡城跡の『瀧廉太郎像』西光寺の『藤丸警部像』も作られています。

兄、渡辺長男も市内に多くの彫刻を残しており、広瀬神社下の『廣瀬武夫胸像』などにも有名です。

朝倉文夫に関する資料は竹田市立歴史資料館に展示されています。また、生誕地の豊後大野市朝地町には、朝倉文夫記念館があります。国道の朝地トンネル入口から車で10分ほどの所です。記念館には『墓守』を始めとする多くの作品が見られ、朝倉文夫が猫を大事にしていたということで、猫を題材にした作品も多いです。

竹田駅前にある『時の流れ』では、制作したのが大正時代であり、女性の裸体を扱った作品であるため社会問題となったようです。当初は、東京美術学校内で特別展示されたということですが。

(衛藤 頼光)

# 声かけて つなぐ竹田の愛育の輪

竹田市愛育保健推進委員会スローガン（平成22年度）

竹田市では、「やすらぎと安心に満ちた支えあうくらし」を実現するために、多くの健康づくり組織が活動しています。今回は、自治会単位で活動している「愛育保健推進委員会」についてご紹介します。

**【目的】** 市民が主体的に健康づくりに取り組むとともに、互いに支えあいながら明るく住みよい地域をつくることを目的に自治会単位での健康づくり活動を企画し推進します。

**【自治会での役割】** 健康づくり

## 保健だより

竹田市健康増進課 ☎63-4810  
 荻支所いきいき市民課 ☎68-2211  
 久住支所いきいき市民課 ☎76-1111  
 直入支所いきいき市民課 ☎75-2142

- 活動のお世話役として、自治会長等との連絡調整をします。
- 【活動内容】** 「声かけ」・「話し合い」・「行政との連絡調整」などで、話し合いの中から自治会の要望があれば、健康学習会を企画し開催します。このような活動を積み重ねることにより、「健康」を人口とした地域づくりを行っています。
- 具体的な活動は、次の4つです。
- ①健康学習会・講演会
  - ②レクリエーション及びスポーツ大会
  - ③食生活に関する実習
    - ・グラウンドゴルフなど
    - ・高齢者の食事や子どものおやつ作りなど
  - ④環境整備事業
    - ・草刈りや空き缶拾いなど
- 【活動状況】** 平成23年度は、388人の推進員が活動しています。
- 平成20年度から22年度の活動状況について(図1)
- 活動に参加する人が、年々増加しています。2年間で延べ参加者数が、4,340人増えています。

■年度別愛育保健推進委員会活動状況(図1)

年度	回数	述べ参加人数
平成20年度	299回	9,370
平成21年度	375回	11,415
平成22年度	466回	13,710



↑竹田地区健康学習会風景

健康づくりは、一人ではなかなか進みません。家族や地域の方々との交流やふれあいから始めてみませんか。地域での「声かけ」や「話し合い」の積み重ねが、地域のきずなやコミュニティづくりの基盤となります。皆さんも、今年度、自治会で計画されている活動にご参加ください。

## ◆ニラそうめん

〈今月の食材〉ニラ

旬は春先～初夏ですが、スタミナをつける食材として真夏にもよく利用されます。βカロテンやビタミンB<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>、C、E、カルシウム、カリウム、鉄などの栄養素が含まれていますが、香り成分のアリシンには血液サラサラ効果や、消化促進、食欲増進効果があるとともに、ビタミンB<sub>1</sub>の吸収率を高めてくれるので、疲労回復や夏バテ予防に効果を発揮します。ビタミンB<sub>1</sub>が多い豚肉やレバーと一緒に調理するのは理にかなった食べ方ですが、栄養分をできるだけ摂取するには、手早く調理し加熱しすぎないことがポイントです。

暑い夏、食事をそうめん等で簡単に済ませる方も多いと思いますが、そこにニラをプラスするだけで様々な効果が期待できますから試してみてくださいね。

〈材料〉4人分

そうめん	6束(300g)	ごま油	小さじ1
ニラ	200g	ちりめんじゃこ	40g
コーン(粒)	40g	トマト	1個
薄口醤油	大さじ2	かぼす	1個
水またはだし汁	1カップ		
みりん	大さじ1		
豆板醤	小さじ1/2～1		

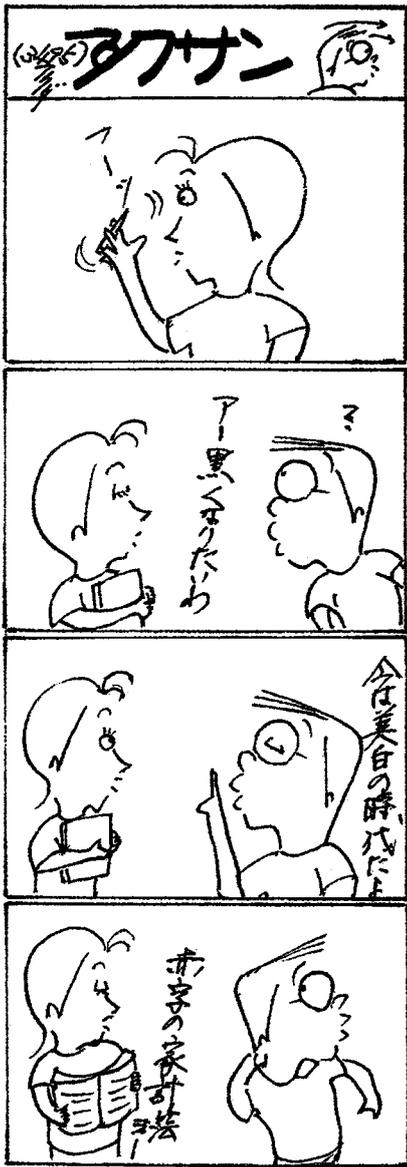
### 【作り方】

1. 鍋にカツコの調味料とちりめんじゃこを合わせて火にかける。煮立ったら細かく刻んだニラを加え、ひと混ぜして火からおろし、ボールに移し氷水をあてて冷ます。コーンとゴマ油も加える。
2. そうめんを茹で、流水で冷ましてザルにあげ、1に混ぜる。
3. 皿につぎわけ、トマトで飾り、くし形に切ったカボスを添えて好みでしぼっていただく。



今月の  
食育レシピ





## 今日の新聞ご案内

### 【一般の本】

- ・ホームレス歌人のいた冬
- ・金子兜太の俳句塾
- ・原発のウソ
- ・道絶えずば、また
- ・星守る犬 小説
- ・天井はまぐり鮎ぎょうざ
- ・左手一本のシュート
- ・ブタとおっちゃん

### 【子どもの本】

- ・いい夢ひとつおあずかり
  - ・あさがおさいた
  - ・原発を考える50話
  - ・世界は気になることばかり
  - ・もったいないばあさんのいただきます
- 他、250冊ほど入りました

喬太章  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ  
山子ハ

小松原 宏子  
大久保 茂徳  
西尾 尾猿  
五味 太郎  
真珠 まりこ

## 図書館から 8月の お知らせ

- 竹田市立図書館  
TEL・FAX 63-1048
- 荻図書室(荻みらい館内)  
TEL 68-2200・FAX 68-2057
- 久住図書室  
TEL 76-0717・FAX 76-0724
- 直入図書室  
TEL 75-2240・FAX 75-2231

### 今月の読み聞かせ

#### おはなしルーム

日時 8月10日(水)  
13:20~14:00  
場所 竹田市立図書館  
えほんのへや

#### ※夏休みは図書館へ!

涼しいお部屋でゆっくりと過ごしませんか  
たくさんの本があなたを待っています!!

#### ブックスタート

日時 8月24日(水)  
14:00~  
場所 竹田市総合社会福祉センター

#### おはなしのへや

日時 毎週火曜日  
10:30~11:00  
場所 竹田市立図書館  
えほんのへや

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※カレンダー中の白抜きの日が休館日です。

## 「司書おすすめの一冊」

### 「沈み橋を渡る」



吉良 幸生 (中日出版社)  
竹田土族隊は戦争の大義名もない、しかも勝機も遠のいた西郷軍に、なぜ大挙して肩入れしたのか……その謎に迫る。郷土の作家が描く歴史小説です。竹田が舞台となり繰り広げられる西南戦争に思いを馳せてみませんか……

### 「つなみ」被災地のこども80人の作文集



(文芸春秋)  
いかに今回の地震のすさまじさと怖さを伝えるかということ。「子どもの眼」、つまり震災を体験した子どもたち自身の手で作文を書いてもらうことが一番ではないかとの想いから生まれた一冊です。一人でも多くの人たちに気持ち伝わりやすく……

## NHK大分放送局開局70周年記念

# NHK公開セミナー「スペシャルドラマ ～坂の上の雲～」

NHK大分放送局開局70周年を記念し、「NHK公開セミナー」を開催します。スペシャルドラマ「坂の上の雲」をテーマに、ドラマの魅力や見どころ、撮影秘話など、ドラマをより一層楽しんでいただくためのトークセミナーです。「坂の上の雲」のドラマで使用した衣装や小道具などの展示も行います。

観覧をご希望の方は、下記によりお申し込みください。

- 主催 NHK大分放送局、NHK文化センター、竹田市 ※入場無料
- 日時 10月1日(土) 午後1時開場・午後1時30分開演・3時終了(予定)
- 会場 竹田市文化会館大ホール
- 講師 藤本隆宏(俳優・広瀬武夫役)、藤澤浩一(NHK番組制作チーフ・プロデューサー)
- 観覧申込
  1. 申込み方法◇電話またはFAX【先着順で定員(約千人)になり次第締め切り】◇5人まで申し込み可◇申し込みの際、①代表者の方の名前②郵便番号③住所④電話番号⑤(複数でお申し込みの場合)参加される方の名前をお知らせください。
  2. 申込先 竹田市観光ツーリズム協会「NHK公開セミナー」係  
◇電話 0974-63-0585 ◇FAX 0974-64-1127
  3. 入場整理券 9月15日(木)頃から順次郵送します。
- お問い合わせ先 竹田市観光ツーリズム協会 電話 0974-63-0585 (午前9時～午後5時)  
NHK大分放送局 電話 097-533-2813 (平日:午前10時～午後6時)
- ホームページ NHK <http://www.nhk.or.jp/oita> 竹田市 <http://www.city.taketa.oita.jp/>



広瀬武夫役 **藤本隆宏**さん  
(竹田特命大使)  
がやってきます!

# ふるさと風韻

竹田市は、夢と理想と志を思い起こさせるまちである。

竹田市出身でご活躍の先輩方に、生まれ育ったまちの空気感に思いを馳せ、自由に筆を走らせていただいた。いま自分の人生に風を吹かせながら…



## ソーシャルメディアを 活用して、

## 今こそ竹田復興を！

幼少の頃から欠かさず読んでいる広報「たけた」への執筆依頼を頂きありがとうございます。故郷への貢献という事で感慨深い想いです。

荒城の月と緑と花の町々竹田で生を受けてから早いもので35年が経過しました。高校時代までを竹田市で過ごし、大学時代から岡山市に住んでいます。現在は、ホームページ制作やシステム開発を主軸とした会社を経営しています。長期休暇の際には必ず帰省しているのですが、過疎化の現状を目にする度にさびしい気持ちでいっぱいになります。その一方で「このままではいかん。なんとかしたい」という想いは強まるばかりです。自分でできることはないだろうか」と日々模索していました。

そんな中、竹田市を復興させようと自ら立ち上がった同級生とインターネットサイトのmixi「ミクシイ」で再会しました。インターネットを活用した地域復興事業を行うということで、私もシステム開発やデザイン制作で協力させて頂きました。その事業とは、去る7/23にオープンした地域活性化SNS「竹田市場」(http://taketa-ichiba.jp)です。(市報7月号P15に掲載) SNSとはソーシャルネットワークワーキングサービスの略で、ブログやmixi、Twitter、Facebookといったソーシャルメディアの一つです。

インターネットを活用したコミュニティで、竹田を離れた人や竹田在住の人と簡単につながる事ができるのです。竹田を離れた方でも「竹田をよくしたい！」と思っている方はたくさんいると思いますが、外から竹田を見ることで、「こうすればよくなる」という案が客観的に具体策として出てくるのではないのでしょうか。そういった人たちが2人、3人…と集まれば、とても大きな力になります。ソーシャルメディアが台頭してきた今だからこそ、竹田市復興に向けて動くときだと確信しています。

小さな城下町々竹田ですが、秘めている力は大きいと思います。岡城跡、竹楽、温泉、名水…数えればきりがありません。竹田では家の冷蔵庫に必ず「本は入っている」という、カボスCサワーも「竹田市が世界に誇るスーパードリンク」と言ってもいいくらい、濃厚・スツキリな果汁飲料です。私も、ことあるごとに宣伝して配っていますが大好評です。こういった隠れた素材をPRしつつ、人と人がインターネットや現実世界で集まり、力を合わせる事によって地元復興が実現できるのではないのでしょうか。

「インターネットはよくわからん」と思っているあなた。「携帯ぐらいしか使わないから…」と言っているあなた。今からでも遅くはありません。パソコンや携帯から、ソーシャルメディアに登録して、同級生や先輩、後輩を検索してみてください。そして、つながってください。ともに語り合っただけで故郷を良くしていくようではありませんか。竹田市の復興は現在進行形です。千里の道も一歩から。やればできる！がんばろう竹田！



ご藤 誠  
略歴

まこと 誠

株式会社CODE54 代表取締役

- 1976年 竹田市生まれ。豊岡小学校、竹田中学校、竹田高校卒業 岡山理科大学、同大学院修了
  - 2001年 システムエンジニアとして開発会社に就職
  - 2004年 個人事業としてCODE54を設立
  - 2005年 有限会社へ組織変更
  - 2006年 株式会社へ組織変更
  - 2008年 岡山アーケバレー会長に就任
  - 2010年 岡山WEBクリエイターズ代表に就任
  - 2011年 CSS Nite in OKAYAMA代表に就任
- 岡山市在住。オーナーの傍らラジオ出演・セミナー講師など多岐にわたり活動中。  
CODE54公式サイト <http://www.code54.net/>  
Facebookアドレス <http://www.facebook.com/goto.makoto>

竹田市場



地域活性化SNS「竹田市場」  
<http://taketa-ichiba.jp>

※「竹田市場」で検索して下さい



郷土の植物

(270)

阿孫 久見

第77回

ウリカワ (オモダカ科)

水田や沼の水湿地に生育する高さ20センチほどの多年草です。白いひげ根を張り、数本の送枝を伸ばして、その先に球茎をつくり株をふやします。根生葉は線形で基部で抱き合います。長さは15センチ、幅は8センチほど、中ほどから根元にかけてスポンジ状で分厚い多肉質です。

3弁花を咲かせます。下段に花弁のない径5センチほどのまるいコンペーター状の雌花を1〜2個つけますが地味で目立ちません。細い葉がむいたマクワウリの皮に似ているので瓜皮の名があります。竹田では里地の田んぼの中で、わずかに観察されますが圃場整備などの改変や休耕地などの環境変化で、その個体はだんだん消滅しています。花期は7月から10月です。

誕生おめでとう

6 月生まれ  
(親・自治会)



平成22年8月生まれ

誕生日 親  
(自治会)

人口のうごき

(平成23年6月30日現在)

		(前月比)
人口	24,989人	(-28人)
男性	11,620人	(-23人)
女性	13,369人	(-5人)
世帯数	10,545世帯	(-11世帯)

住民基本台帳登録



# たけたん

## 情報

### 2011 8

本 庁 ☎0974-63-1111  
 荻支所 ☎0974-68-2211  
 久住支所 ☎0974-76-1111  
 直入支所 ☎0974-75-2211

### 大分県立芸術文化短期大学写真展

「LOVE & PEACE TAKETA ～芸短生が見た感じた竹田～」

期 間 8月1日(月)～9月30日(金)  
 時 間 11:00～22:00 (木曜日を除く)  
 会 場 竹田温泉「花水月」2階休憩室  
 ※写真展へお越しの際は、花水月入浴料がかかります  
 ●お問い合わせ 竹田市企画情報課文化・地域振興室  
 ☎63-1111 (内線221)

### 竹田幼稚園夕涼み会 親子で夕涼みのひとときを

日 時 8月21日(日) 18:00～20:00  
 場 所 竹田幼稚園 ※雨天決行  
 参加費 子ども1人300円(ゲーム券・ラムネなどを含む)  
 内 容 ゲームやくじ引き、盆踊り、花火大会など  
 ※ラムネもあります。  
 ☆参加希望の方は5日(金)までお知らせください  
 ●お問い合わせ 竹田幼稚園 ☎63-1081

### 瀧廉太郎記念音楽祭 第65回大会協賛

クオーレ

### アルテヴィーヴァコンサート「CUORE」(こころ) in 竹田



日 時 8月28日(日)  
 13:30開場 14:00開演  
 場 所 久住公民館くじゅうサンホール  
 入場料 大人2,000円(当日2,500円)  
 高校生以下1,000円(当日1,500円)  
 ●お問い合わせ アルテヴィーヴァコンサート実行委員会  
 事務局 ☎080-5602-8574  
 (ホームページ) <http://arteviva.jp/>

### 新しくできた「竹田踊り」の練習をします

日 時 8月24日(水)・30日(火) 18:00～  
 場 所 竹田市公民館 竹田分館  
 ●お問い合わせ 竹田民謡・民舞保存会  
 ☎62-3494

「竹田踊り」を披露します

### 第4回奥豊後の踊りを楽しむ夕べ

日 時 9月3日(土) 18:00～20:00  
 場 所 竹田市文化会館大ホール 入場無料  
 主催 奥豊後の踊りを楽しむ夕べ実行委員会

### 歴史資料館

☎63-1923

〔開館時間〕 9:00～17:00  
 〔休館日〕 月曜日。祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)

○常設展 『おもしろ南画展』

6月25日(土)～8月21日(日)

○常設展 『山水画展』

8月27日(土)～10月9日(日)

南画の代表的な画題である山水画を中心に紹介

8月21日(日)午後～8月26日(金)まで収蔵庫燻蒸のため  
 臨時休館します。ご迷惑をおかけしますが、よろしく  
 お願いします。

### 市民ギャラリー水琴館

☎63-2200

〔開館時間〕 9:00～17:00  
 〔休館日〕 月曜日。祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)

○『平成23年度奥豊後ちょっとみ歴史展』

7月27日(水)～8月7日(日)

南画と聞いて堅苦しい、難しいと感じるあなた、ぜひ一度おいでください。

(竹田市文化財課文化財管理センター ☎66-3618)

○『絵画とエッセイ 首藤勝次 真夜中の余技展』

8月9日(火)午後～8月21日(日)

(事務局 ☎090-3079-4980)

○『押し花いちりん草作品展』

8月26日(金)午後～9月11日(日)

自然の風景と感動的な出会いを押し花に表現した額装やアクセサリーを展示。

(押し花教室いちりん草 ☎62-4352)

※なお、展示内容の詳細を知りたい方は、申込者へ直接お尋ねください。

### 「おおいた教育の日」エッセイ募集!

「おおいた教育の日」を推進するため、県民の皆さんからエッセイを募集します。

募集内容 一般の部…テーマ「おおいたの子どもたちへ」

小・中・高・大学等の部

…テーマ「わたしの心に残ること」

〔高校生以上・一般〕400字原稿用紙4枚以内

〔小学生・中学生〕400字原稿用紙3枚以内

表彰・副賞 会長賞(各部1点、図書カード2万円)ほか

応募資格 県内在住、または大分県出身の方

募集期間 7月1日(金)～9月9日(金)

●お問い合わせ 大分県教育の日推進会議事務局

(県教育庁社会教育課)

大分市府内町3-10-1 ☎097-506-5526

# 福祉

## 児童扶養手当・特別児童扶養手当受給者のみなさんへ

8月は現況届並びに所得状況届出の月です。この届を出さないと、8月分以降の手当が受けられません。福祉事務所から通知が届きましたら、必ず期間内に届出をしてください。

### 児童扶養手当とは…

#### 1. 受給資格者

手当を受けることができる人は、次の条件に当てはまる「児童」を監護している父・母、または父母に代って「児童」を養育している人です。

なお、「児童」とは、18歳到達後最初の3月31日までの者、または20歳未満で政令に定める程度の障害の状態にある者をいいます。いずれも国籍は問いません。

- ①父母が離婚した後、父・母と生計を同じくしていない児童
- ②父または母が死亡した児童
- ③父または母が政令で定める程度の障がいにある児童
- ④父または母の生死が明らかでない児童
- ⑤父または母から1年以上遺棄されている児童
- ⑥父または母が法令により1年以上拘禁されている児童
- ⑦母が婚姻しないで生まれた児童
- ⑧父・母ともに不明である児童

次のような場合手当は支給されません。

- ①児童が、
    - イ、日本国内に住所がないとき
    - ロ、父または母の死亡について支給される公的年金給付を受けることができるとき
    - ハ、父または母に支給される公的年金給付の額の加算の対象になっているとき  
(※児童が障害基礎年金の子加算の対象である場合、23年4月以降、児童扶養手当が子加算額を上回っていれば、児童扶養手当の受給が可能となりました)
  - ニ、労働基準法等の規定による遺族補償を受けることができるとき
  - ホ、児童福祉施設等に入所または里親に委託されているとき
  - ヘ、父または母の配偶者(事実上の婚姻関係の場合も含む)に養育されているとき
- ②父・母または養育者が、
    - イ、日本国内に住所がないとき
    - ロ、公的年金給付を受けることができるとき(老齢福祉年金を除く)
    - ハ、養育者の場合は児童と別居しているとき

#### 2. 手当の額

手当の額は下記のとおりですが、父・母に対する手当は、支給開始月から5年または支給要件に該当した月から7年を経過した時は、手当額の1/2が減額になります。ただし、就業している場合、求職活動をしている場合、負傷または疾病等により就業することが困難な場合、または障がいがある場合などは減額になりません。(届出が必要です)

区分	全額支給される者	一部支給される者
児童1人のとき	月額 41,550円	月額(下記※による)
児童2人のとき	加算額 5,000円	加算額 5,000円
児童3人以上のとき	1人につき加算額 3,000円	

※一部支給は本人の所得額に応じて月額41,540円から9,810円まで10円きざみの額です。

#### 3. 支給制限

手当を受けている人または扶養義務者や配偶者の前年の所得が、扶養親族等の数による所得限度額以上ある場合は、その年度(8月分から翌年の7月分まで)は、手当の全部又は一部が支給停止されます。

#### 4. 手当を受けている方の届出の義務

手当を受けている方は次のような届出の義務があります。忘れずに必ず福祉事務所に届け出てください。

- ①現況届……毎年8月1日から8月31日までの間に届け出て、引続き支給要件に該当するかどうかの審査を受けます。
- ②資格喪失届……次のような場合には、早急に資格喪失届を提出してください。  
(注意事項:資格喪失届を提出せずに手当の支払いを受けた場合には、資格がなくなった月の翌月分以降の手当をすべて返還していただくことになります)

- 婚姻の届出をしたとき
- 婚姻の届出はなくても事実上の婚姻関係(同居あるいは同居がなくてもひんぱんに定期的な訪問・生活費の援助があるなどの状況)となったとき
- 公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金等)を受けようになったとき
- 児童が公的年金を受給し、又は公的年金の加算対象になったとき
- 児童の死亡や、転出などにより監護(養育)しなくなったとき
- 児童が施設入所したり、里親に委託されたとき
- 刑務所等に監禁中の父親・母親が出所したとき
- 遺棄している児童の父・母から連絡、訪問、送金があったとき
- ③転出届……市外へ転出の際に、提出してください。  
※上記以外にも、各種の届出があります。

### 特別児童扶養手当とは…

#### 1. 受給資格者

日本国内に住所を有する20歳未満の精神または身体に中程度以上の障害を有する児童を監護する父・母、または父母に代ってその児童を養育している人に支給されます。

ただし、児童が障がいを支給事由とする公的年金を受けることができる時、または児童福祉施設等へ入所している時は、手当は支給されません。

#### 2. 手当の額

- 重度障がい児(1級)の場合  
児童1人につき 月額50,550円
- 中度障がい児(2級)の場合  
児童1人につき 月額33,670円

#### 3. 支給制限

請求者及びその扶養義務者等の前年の所得が、限度額以上ある場合は、その年度(8月から翌年の7月まで)の手当の支給は停止されます。

くわしくは、竹田市福祉事務所までお問い合わせください。

### ひとり親家庭医療費助成について

ひとり親家庭医療費助成について

ひとり親家庭医療費は、ひとり親家庭の親とその児童を対象に、医療費の自己負担分を全額助成するものです。

#### 1. 受給資格者

離婚、死別等で配偶者のいない人で、現に18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童を監護している人です。

#### 2. 支給制限

請求者及びその扶養義務者等の前年の所得が限度額以上ある場合は、その年度(8月から翌年の7月分まで)は助成を受けることが出来ません。所得限度額は児童扶養手当の限度額と同じです。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所 子育て支援係  
☎63-1111 (内線154・155)

## 幼い命を車内放置事故から守りましょう!!

毎年、暑い時期になると車内に放置された子どもが熱中症で亡くなる事故が発生しています。短時間であっても、車内は50度以上の高温になり、子どもの命に関わる危険性があります。国の指針では、このような状況に子どもを放置することは「児童虐待」に該当するとされています。

悲しい事故を防ぐため、子どもの車内放置は絶対にやめましょう。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所 子育て支援係  
☎63-4811

## 平成23年度「ときめき作品展」作品募集

県内在住の障がい者、障がい児の文化活動発表の場として開催される「ときめき作品展」の出品作品を募集しています。

出展料 無料

募集作品 絵画・写真・書・陶芸・工芸・合作  
※詳細についてはお問合せください。

募集期限 平成23年8月1日(月)～31日(水)まで

申込方法 福祉事務所または各支所いきいき市民課に備え付けの申込書に必要事項を記入し、作品の写真(カラー・サービス版、作品の全容が判るもの)を添えて提出してください。

展示期間 11月17日(木)～21日(月)  
(大分市アートプラザ・アートホール)

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎63-4811

## 身体障がい者巡回相談会 無料

日時 9月1日(木) 検査・診察開始/聴覚12:30～  
(※予約制。相談を希望される方は事前の申込が必要)

場所 竹田市総合社会福祉センター

内容

### ①対象者

・新たに身体障害者手帳の交付を受けたい方、または既に所持している身体障害者手帳の等級を変更したい方

(聴覚)

・補装具費の支給を受けたい方(補聴器など)  
※補装具の適合判定は2週間前までの予約が必要です。また、補装具製作者も同席することになりますので業者と相談のうえ、竹田市福祉事務所に2週間前までに連絡してください

・その他、身体障害者福祉に係る各種制度等の相談をしたい方

### ②診察科目

・聴覚障がい(大分大学医学部附属病院鈴木正志 医師)  
※担当医師は、当日の都合により変更になることがあります

申込期限 8月18日(木)まで(電話にて受付)

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎63-4811

## 第22回豊の国ねりんピック「シルバー作品」及び「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」の入賞者紹介

### 【シルバー作品展】

工芸の部……阿南孝子さん(竹田・拝田原)  
審査員特別賞「型染め 千の風になって」

### 【シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展】

川柳の部……筑紫とみ子さん(久住・平木)  
最高齢者賞「背におうてうたってねかせた子がたより」、「亡き人のおはこはいつも荒城の月」

短歌の部……原口五月さん(竹田・向町)

太田宅美選「今年又ピンクの花が咲きました貴方が植えた樅の苗木」



↑阿南孝子さん作品

## 募集

### 2011年度「差別をなくす人権標語」募集

対象 県内に在住する15歳以上の県民のみなさん  
(児童・生徒は別途募集)

募集期間 9月7日(水)まで

### 応募方法

①一人一作品(人権をまもり、差別をなくす標語)

②はがき・封書またはFAXで直接送付

※応募用紙は、生涯学習課、竹田地区分館、荻、久住、直入の各公民館にも設置

③送付先 社団法人大分県人権教育研究協議会『人権標語募集係』宛(〒870-0929大分市下郡496-38 大分県教育会館内)

④住所・氏名(ふりがな)をお書きください

⑤賞は優秀賞及び入選とし、賞状、賞品があります

⑥「優秀賞」「入選」となった応募者は、広報紙等への掲載に同意するものとさせていただきます

〔主催〕大分県・大分県教育委員会

(社)大分県人権教育研究協議会

●お問い合わせ (社)大分県人権教育研究協議会

☎097-556-1012 FAX097-556-0864

## 農業

### おおいた新規就農・就業相談会を開催します

趣旨 大分県では新規就農者を5年間で1000人確保する目標を掲げ、新規就農者の確保に取り組んでいます。大分県への就農希望者を対象とした相談会を開催し、積極的に地域情報を発信することにより、地域農業の担い手の確保を図ります。

日時 8月12日(金) 11:00～16:00

場所 コンパルホール3階多目的ホール、309会議室  
(大分市府内町1丁目5番38号)

●お問い合わせ 竹田市農政課 ☎63-4805

# 竹田市のこよみ 8月 2011年

1(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>『平成23年度奥豊後ちよっと見歴史展』9:00-17:00 (市民ギャラリー水琴館) [~8/7まで] ・大分県立芸術文化短期大学写真展「LOVE &amp; PEACE TAKETA ~ 芸短生が見た感じた竹田~」11:00-22:00 (竹田温泉花水月) [~9/30まで] ・こころの健康相談13:30-15:30 (荻福祉健康エリア)：要予約 (☎63-3346) ・荻の里温泉休館日</li> </ul>
2(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)</li> </ul>
3(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児健診 13:00-13:20 (竹田市総合社会福祉センター)</li> </ul>
4(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田市歩こう会 [早朝散策魚住] 本町マルシヨク前5:50集合※1 ・第7回人権を守る市民の集い/～人権講演会 [講師] 矢崎節夫氏 13:30-15:30 (竹田市文化会館大ホール) ・竹田温泉「花水月」休館日</li> </ul>
5(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会第9回総会 14:00～ (市役所本庁3階会議室) ・教育講演会「ヒロシマからフクシマまでの道」 [講師] アーサー・ビナード 18:30～ (竹田市文化会館大ホール) ㊟竹田教育振興協議会 ☎63-3105</li> </ul>
6(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回ナイター陸上「ドリウムゲームス in おおぞ」16:30-20:00 (荻小学校グラウンド)</li> <li>・たけた夏物語「七夕こども夜市」17:00-20:00 (竹田市田町・廣瀬神社下)</li> </ul>
7(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回市民球技大会 8:15-17:00 (市総合運動公園多目的広場ほか)</li> </ul>
8(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田市畜産共進会9:00～14:00 (竹田地域予選会) ・久住夏越祭り15:00-22:00 (久住商店街)</li> <li>・荻の里温泉休館日 ・中学生韓国体験学習 (～12日)</li> </ul>
9(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久住夏越祭り8:30-22:00 (久住商店街) ・『絵画とエッセイ 首藤勝次 真夜中の余技展』9:00-17:00 (市民ギャラリー水琴館) [~21日]</li> <li>・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 (竹田古町会場) 13:30-15:30 (☎63-3346)</li> </ul>
10(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第28回子ども祭り in なおいり 9:00開会 (直入公民館・B &amp; G直入海洋センター) ・おはなしルーム 13:20～14:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・Ready2chat英会話 (英語中・上級向け) 19:00-21:00 (竹田市総合社会福祉センター会議室) ㊟竹田市商工観光課 ☎63-4807</li> </ul>
11(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙人 (かみびと) の世界 富永嘉子作品展 9:00-17:00 (竹田創生館) ～31日まで</li> <li>・竹田温泉「花水月」休館日</li> </ul>
12(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おも城サイトミュージアム13:00～ (岡城跡駐車場) ※要予約：竹田市文化財課 ☎63-4818</li> </ul>
13(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・童謡と絵本の会10:00-11:30 (佐藤義美記念館 [このこのおうち]) ・「国際料理教室」(エクアドル料理『パン・デ・ミノ (バナナブレッド)』) 10:00-15:00 ※要予約 8/10まで (竹田市総合社会福祉センター) ㊟竹田市商工観光課 ☎63-4807</li> </ul>
14(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとふれあい夜市 18:00～ (直入町湯の原商店街) ・第8回小松明祭り19:00-21:00 (宮城地区～古園、上坂田、刈小野、阿鹿野大橋一带～) ㊟宮城地区観光推進計画推進委員会 (宮城分館) ☎66-2014</li> </ul>
15(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精霊流し19:00-20:00 (JR豊後竹田駅前竹田橋下流) ㊟竹田市まちづくり実行委員会 (竹田商工会議所内) ☎63-3161</li> </ul>
16(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛のトマト便出発式10:00-12:00 (大分県農業協同組合 竹田事業部野菜集出荷場) ・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)</li> <li>・就職セミナー &amp; 合同企業面接13:00-16:00 (竹田市文化会館) ・荻の里温泉休館日</li> </ul>

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで (小河晴義 ☎62-3662、太田正一 ☎68-2480、渡辺善照 ☎77-2067、芥藤義昭 ☎75-2692)

### 平成23年度 竹田市巡回健診日程表【8月】

実施月日	地域	場所
8月5日(金)	豊岡	竹田市総合社会福祉センター
8月8日(月)	竹田	竹田市総合社会福祉センター
8月19日(金)	竹田・豊岡	竹田市総合社会福祉センター
8月21日(日)	久住	久住保健センター

### 平成23年度 直入地域腹部超音波検診日程表

実施月日	地域	場所
8月29日(月)	直入長湯地区	直入保健福祉センター
8月30日(火)	直入下竹田地区	山村交流センター

### 第64回大分県民体育大会競技日程

市民のみなさんの熱い応援をお願いします！

8月29日(月)	竹田市選手団結団式
8月30日(火)	ゴルフ競技
9月3日(土)	バドミントン ラグビーフットボール競技
9月4日(日)	自転車競技 (ロード)
9月3日(土) 4日(日)	クレー射撃競技
9月10日(土)	総合開会式 [別府市べっぶアリーナ]
9月10日(土)～ 12日(月)	県民体育大会 (主日程)
9月12日(月)	総合閉会式 [日出町中央公民館]

●お問い合わせ  
竹田市生涯学習課スポーツ振興係 ☎63-4817

17(水)	・年金相談10:00-15:00 (竹田市高齢者いきいき交流センター) ・大分県行政書士会無料相談13:00-16:00 (大分県行政書士会〔大分市〕) ・こころの健康相談 (直入保健福祉センター) 13:30-15:30: 要予約 (☎63-3346)
18(木)	・豊肥市牛市場 9:30-14:00 ・多重債務相談会 10:00～16:00 (竹田市総合社会福祉センター相談室) ・竹田温泉「花水月」休館日
19(金)	・国際Cinema in Taketa 「シャローック・ホームズ」20:00～ (竹田市総合社会福祉センター多目的ホール) ④竹田市商工観光課 ☎63-4807
20(土)	・「学生ビジエ〜んフェスタ」18:30-22:00 (道の駅すごう2階) 主催・学生団体B T G 大分 ④080-6506-3346 (中西: 大分大学医学部4年、学生団体B T G 大分代表)
21(日)	・『郷土の自然に親しみ植物を観察する会』(川上 深谷の観察) 竹田市役所 7:30集合※1 ・竹田市歩こう会 (入田中島公園散策) 本町マルシヨク前 8:00集合※1 ・竹田幼稚園夕涼み会 18:00-20:00
22(月)	・豊肥牛市場 9:30-12:00 ・荻の里温泉休館日
23(火)	・聞こえとことばの教育相談9:30-15:30 (竹田教育事務所 31会議室) ※申込8/5まで ・献血10:00-16:00 (竹田市総合社会福祉センター) ・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・大分県暴力団排除条例施行記念市民大会 13:30-15:30 (別府市・別府ビーコンプラザ) ・こころの健康相談 13:30-15:30 (竹田市総合社会福祉センター): 要予約 (☎63-3346)
24(水)	・3・6・12か月児健診 13:00-13:20 (竹田市総合社会福祉センター) ・ブックスタート14:00～ (竹田市総合社会福祉センター)
25(木)	・視覚障がい教育相談10:30-15:00 (竹田市役所3階会議室) ※申込8/5まで ・こころの健康相談13:30-15:30 (久住保健センター) 要予約 (☎63-3346) ・竹田温泉「花水月」休館日
26(金)	・『押し花いちりん草作品展』9:00-17:00 (市民ギヤラリー水琴館) [～9/11まで] ・おも城サイトミュージアム13:00～ (岡城跡駐車場) ※要予約: 竹田市文化財課 ☎63-4818
27(土)	・第1回九州アルプス駅伝大会 9:00-13:00 (久住高原日本一のマラソンコース) ・童謡と絵本の会10:00-11:30 (佐藤義美記念館「このこのうち」) ・大分合同新聞文化教室～竹田総合学院(TSG) 歴史・文化資源再発見特別講座「藤人(かみびと) 講座」10:00-15:00 (竹田市中央公民館竹田分館) ④企画情報課文化・地域振興室 ☎63-1111 (内線221) [～28日] ・第28回竹田薪能 18:00-20:30 (稲葉川水上舞台・栗田)
28(日)	・アルテヴァイヴァークコンサート「CUORE」(こころ) in 竹田 13:30開場 14:00開演 (久住公民館くじゅうサンホール)
29(月)	・第64回大分県民体育大会結団式 18:30-19:00 (竹田市体育センター)
30(火)	・荻の里温泉休館日 ・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)
31(水)	・Ready2chat英会話〔英語中・上級向け〕19:00-21:00 (竹田市総合社会福祉センター会議室) ④竹田市商工観光課 ☎63-4807 ・第6回竹田市畜産共進会9:00-15:00 (久住家畜総合センター) ・1・6歳児健診13:00-13:20 (竹田市総合社会福祉センター) ・【納期限】※3 ・個人事業税1期 (納期限)
月間	・ソフ王国たけた三ツ星ソフクリームキャンペーン (7/1～9/30)
その他	・竹田市立歴史資料館『おもしろ南画展』(～8/21)、『山水画展』(8/27～10/9) ・身体障がい者巡回相談 12:30～ (竹田市総合社会福祉センター) ※無料・要予約 (TEL 63-4811) (9/1) ・豊肥地区がん患者さんのつながり広場10:00～13:00 (大分県豊肥保健所) ④豊肥保健所 ☎0974-22-0162 (9/4) ・農業委員会第10回総会 14:00～ (市役所本庁3階会議室) 9/6

- ※1 ④竹田市歩こう会 ☎0974-62-2501 (山本)
- ※2 ④竹田創生館 ☎62-4100
- ※3 【納期限】 市県民税2期、国民健康保険税2期、介護保険料・後期高齢者医療保険料2期 (8月31日納期)

**農業委員会事務局農地係からのお知らせ**  
農地に係る各種申請受付の締め切りは、毎月15日です (15日が土日の場合は直前の金曜が締め日となります) 。 ●お問い合わせ 竹田市農業委員会事務局 ☎63-4815

岡藩城下町400年祭ブシ事業  
**第28回竹田薪能 喜多流**  
水上特設舞台で繰り広げられる幽玄の世界竹田薪能 (たぎぎのう)

**日 時** 平成23年8月27日(出) 18時開演/終了20時半頃  
**場 所** 大分県竹田市挾田 稲葉川 水上舞台

舞雛子	「龍田」	塩津 哲生
狂言	「伯母ヶ酒」	山本 則重
能	「経政」	塩津 圭介

**入場料** 指定席6,000円 自由席5,000円 (前売り自由席4,000円)  
**【主催】** 竹田薪能実行委員会  
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/taketa-takinou/>  
●お問い合わせ 竹田市観光ツーリズム協会 ☎0974-63-0585

**能楽入門講座 『能と出会う日』** ——  
若手能楽師、塩津圭介氏のワークショップを今年も開催! 「難しくてわかりづらい」という能のイメージが驚くほど変わります!  
今年の竹田薪能の演目「経政」の解説もいたします。夏休みの親子体験や、伝統文化に触れる機会に、たくさんのお友達やご家族と、お気軽にお越しください!

**【日 時】** 平成23年8月20日(出) 13:00～16:00  
**【場 所】** 竹田市向丁 塩津清人記念能舞台  
**【参加費】** 無料 ☆「経政」をイメージした和菓子付き ☆  
**【お問い合わせ】** 竹田創生館 ☎62-4100  
竹田市観光ツーリズム協会 ☎0974-63-0585

**竹田・能 month ～能と出会うまち～**  
八幡川横町の『しほや』の蔵にて、薪能の写真の展示やミニワークショップを開催!  
また、塩津清人記念能舞台でも期間中、能の装束や面の展示を行います。  
どちらも入場無料! お気軽にお越しください!  
**【期 間】** 平成23年8月1日(月)～8月31日(水)

## 平成24年度 大分県立農業大学校学生募集

募集定員 60人（農学部）

試験期日 〔推薦入試〕平成23年11月9日(水)  
〔一般入試〕平成23年12月2日(金)  
※推薦入学試験は、来春、県内高校卒業見込みの者に限ります。

※一般入学試験は、年齢制限がありません。  
出願期間 〔推薦入試〕平成23年10月7日(金)～10月28日(金)  
〔一般入試〕平成23年11月9日(水)～11月21日(月)

●お問い合わせ 大分県立農業大学校 教務・学生課  
☎0974-22-7581

## 講習会

### 猟銃及び空気銃の取扱に関する講習会

猟銃若しくは空気銃の所持許可を希望する方は受講してください。

開催日時 平成23年8月28日(日) 9:30～17:00

開催場所 コンパルホール3階大会議室  
(大分市府内町1丁目5番38号)

受講対象者 大分県に住所を有し、猟銃若しくは空気銃の所持許可を受けようとする者で、現に猟銃又は空気銃を所持していない者

申込要領 ①8月20日(金)までに竹田警察署(生活安全課)に申込手続きをしてください  
②受講申込には、猟銃等講習会受講申込書(用紙は警察署備え付)2通、写真(6ヶ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦4cm×横3cm)2枚、印鑑が必要  
③受講手数料として6,800円(大分県収入証紙)が必要です

※詳しくは竹田警察署(生活安全課 ☎63-2131)、または竹田地区銃砲保安協会事務局(☎62-3434)へお尋ください。

## 年金

### 国民年金保険料の納付は、便利・安心・確実な口座振替で!

国民年金保険料の納め忘れはありませんか? 「忙しくて…」、「つい、うっかり…」といった理由でも保険料の納め忘れがあると、将来受け取る老齢基礎年金額が減額されたり、受けられなくなったりします。そこで、国民年金保険料の納付には、便利で安心、確実な口座振替をおすすめします。

口座振替は、全国の銀行・郵便局・農協・信用金庫・

信用組合・労働金庫で利用できます。申し込みの際は、年金事務所や金融機関に備え付けの申出書に必要な事項を記入して、口座振替を希望される金融機関等の窓口へ提出してください。

●お問い合わせ 日本年金機構大分年金事務所  
☎097-552-1211

## 消費生活

### 消費生活相談窓口からのお知らせ 未公開株詐欺にご注意を!

「上場間近と勧誘され購入したが、いまだに上場しない」などの未公開株のトラブルが増加しています。勧誘方法としては、『複数の業者が介入し、高値での買取を約束する』、『過去に未公開株を購入したことのある消費者に、被害回復をうたって未公開株を購入させる』など手口は様々です。「儲かる株」「必ず上場する株」などは絶対にありえません。そもそも、赤の他人に本当に儲かる話をするとは考えられません。断り切れずに契約してしまったり、怪しいと思ったら竹田市役所市民課窓口まで!

●お問い合わせ

竹田市市民課消費生活相談窓口

☎63-4834 ・8:30～17:00(月～金・平日のみ)

大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)

☎097-534-0999

## 試験

### 平成23年度自衛官募集

一般曹候補生、自衛官候補生、航空学生を募集

対象者 18歳以上27歳未満の男女

\*航空学生については、高卒(見込み)18歳以上21歳未満

受付期間 8月1日(月)～9月9日(金)

\*男性の自衛官候補生は随時

試験期日・場所

○一般曹候補生

9月17日(土)(竹田市文化会館大会議室)

○自衛官候補生

9月17日(土)(竹田市文化会館大会議室)

○航空学生

9月23日(金)(大分県中小企業会館)

○自衛官候補生(女性)

9月25日(日)・26日(月)(府内学園)

●お問い合わせ 自衛隊大分地方協力本部竹田地域事務所  
☎63-3320

## 休日及び夜間の在宅当番医

大久保病院 ☎64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00  
土曜日 13:00～21:00  
休日 8:30～21:00

注意事項 ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうようお願いします。  
・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。  
・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

※竹田医師会病院でも電話で相談いただき、可能な場合は診療します。

## 小児科外来休日当番院

当番日	医療機関	電話番号
8月6日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田子ども診療所	0974-63-3838
8月7日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
8月13日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
8月14日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
8月15日(月)	豊後大野市民病院(緒方町) (17時まで)	0974-42-3121
8月20日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田子ども診療所	0974-63-3838
8月21日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
8月27日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田子ども診療所	0974-63-3838
8月28日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
9月3日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田子ども診療所	0974-63-3838
9月4日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30(こども診療所は9:00～11:30)  
診療時間 9:00～12:00(三重東クリニックは8:30～12:00)  
※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

○豊後大野市民病院 <http://ogatahp.ddo.jp/>  
○みやわき小児科 <http://www.miyawaki-kodomo.com/>  
○三重東クリニック <http://www.sekiaikai.jp/index.html>  
○竹田市立こども診療所 <http://www.city.taketa.oita.jp/>  
○大分県豊肥保健所 (☎0974-22-0162)

## 歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
8月7日(日)	長湯ごとう歯科(長湯)	0974-75-3001
8月14日(日)	高山歯科医院(竹田)	0974-63-2561
8月21日(日)	竹下歯科医院(竹田)	0974-62-2662
8月28日(日)	長湯ごとう歯科(長湯)	0974-75-3001

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>

受診時の注意 当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎63-0119)にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となることがありますので、ご了承ください。



たけた市民チャンネル8月特番情報



たけたケーブルテレビ

### ◇ふるさとトピックス総集編

夏休み期間に合わせて、たけた市民チャンネルでは、たけたホッとタイムス内のふるさとトピックス4月分から7月分を総集編でお届けします。

【放送日】

- ・4月分総集編 8/6、13、20、27、9/3(土)  
14:00～、8/15(月)14:00～
- ・5月分総集編 8/6、13、20、27、9/3(土)  
19:00～、8/15(月)20:00～
- ・6月分総集編 8/7、14、21、28、9/4(日)  
14:00～、8/12(金)14:00～
- ・7月分総集編 8/7、14、21、28、9/4(日)  
17:00～、8/12(金)20:00～

### ◇大河ドラマ「独眼竜政宗」(毎週月曜更新)

【放送日】

- (月)8:00～・(火)15:00～・(水)17:00～・(木)20:00～・  
(金)9:00～・(土)23:00～・(日)12:00～
- ・第48回「伊達流へそ曲がり」(8/1～7)
- ・第49回「母恋」(8/8～14)
- ・第50回「大往生」(8/15～21)

### ◇大河ドラマ「篤姫」(毎週月曜更新)

【放送日】

- (月)8:00～・(火)15:00～・(水)17:00～・(木)20:00～・  
(金)9:00～・(土)23:00～・(日)12:00～
- ・第1回「天命の子」(8/22～28)
- ・第2回「桜島の誓い」(8/29～9/4)

●お問い合わせ 竹田市ケーブルネットワークセンター  
☎76-1415

## 歳に眠る名品を探しています

岡藩400年記念事業 岡藩城下町雛まつり「家中ひなめぐり」

来年岡藩400年祭のイベントとして、竹田市の歴史的風致の残る街並み景観地区巡りと、商店やギャラリーに展示されている雛人形と合せて「岡藩家中雛めぐり」を行います。

つきましては、岡藩家中に伝わる江戸・明治・大正時代までの「雛人形」、「武者人形」、「家宝」、「骨董品」を探しています。

展示場所 竹田市歴史資料館・市民ギャラリー水琴館

日程 平成24年2月3日(金)～3月4日(日)

●お問い合わせ 竹田市観光ツーリズム協会竹田支部 ☎63-2638

# 平成23年8月 岡の里ふるさとUターン情報

事業所名	事業所の内容	求人職種	求人数	賃金	備考(資格等)
株式会社 安愚楽牧場 大分支店	黒毛和種牛の飼養と枝肉販売	飼育係	3	16.2~25.0万	小型車両・フォークリフト等歓迎
株式会社 あんのん	結婚式場・宿泊施設・法 事・祝事・仕出し	調理師	1	15.0~25.0万	調理師
		営業員	1	12.0~20.0万	営業経験者優遇
		接客係	3	650~800円	
特定医療法人社団 大久保病院	医療・介護老人保健施設等	正看護師(交替勤務)	2	22.6~32.1万	正看護師
		介護及び看護補助員	3	13.2~13.7万	
		正看護師(訪問看護)	1	1200円	正看護師
荻町まちおこし有限会 社「荻の里温泉」	温泉・レストラン・旅 館・みやげ品販売・農林 産物販売	調理係	2	12.6~15.2万	
		接客係	1	700~800円	
財団法人 久住やすらぎ観光公社	宿泊施設・国民宿舎・久 住高原荘の運営	接客係	4	12.3万	
有限会社 工藤商店	新建材等の販売及び飲食業	配管技士	1	15.0~25.0万	管工事施工管理技士・浄化槽設備士
		配管工見習	1	12.5~20.0万	大型自動車
		調理師又は調理補助	1	13.5~25.0万	和洋食調理の出来る方
社会福祉法人 孝寿福祉会(荻の苑)	特別養護老人ホーム 短期入所生活介護等	作業療法士	1	21.0~30.0万	作業療法士
		看護員	2	15.5~30万	准看護師
		相談員	2	16.4~30.0万	社会福祉主事
株式会社 翡翠倶楽部 (宿房 翡翠之庄) 株式会社 常聖天空	旅館業・食事処等	接客係	2	13.0~20.0万	
	宿泊施設等	接客係	1	13.0~18.0万	接客経験者
社団法人 竹田市医師 会(竹田医師会病院)	病院	理学療法士	2	22.3万~26.3万	理学療法士
		正看護師	5	21.0~25.3万	正看護師
		看護補助者	5	13.4~15.0万	ホームヘルパー2級以上
竹田市医師会立竹田訪 問看護ステーション	訪問看護	正・准看護師	2	16.0~25.3万	正・准看護師
		正・准看護師	2	時給900~1000円	正・准看護師
社会福祉法人 竹田市社会福祉協議会	福祉関係団体の支援・地域福祉 事業 市との共済事業・介護保 険事業・県市からの委託事業	看護師(正・准)	1	15.0万	正・准看護師
		介護支援専門員	1	15.0万	介護支援専門員
		社会福祉士	1	15.0万	社会福祉士
株式会社 長湯歴史温泉伝承館	温泉入浴宿泊施設	レストランホールス タッフ	2	11.0~15.0万	
		調理スタッフ	1	11.0~15.0万	
医療法人 健伸会 みはら整形外科クリ ニック	整形外科・内科・指定居 宅介護支援事業所等	受付事務員	1	12.0万	医療事務
		正・准看護師	3	16.0~25.0万	看護師(正・准)
		介護職	2	12.8万	ヘルパー2級
医療法人 雄仁会 (加藤病院・岡の苑・ 和の郷)	医療・介護保険事業等	正看護師	3	21.6~27.0万	正看護師
		介護職	2	12.5万	有資格者優遇
		介護福祉士	2	15.0~17.0万	介護福祉士
社会福祉法人 偕幸社(悠々居)	特別養護老人ホーム デイサービス等	正・准看護師	1	16.3~18.1万	正・准看護師
		介護職	2	14.4~15.4万	
		ホームヘルパー	2	1200~1450円	ヘルパー2級以上

○一覧表は、ハローワーク豊後大野(竹田地域職業相談室)に申し込まれている7月1日現在の有効求人です。

一覧表以外の企業についても多種の求人がありますので窓口にお申し出ください。

○上記の一覧表は、日時の経過で求人数等に多少の変更が生じることがあります。

●お問い合わせ ハローワーク豊後大野竹田地域職業相談室 ☎0974-63-1101

ハローワーク豊後大野(豊後大野公共職業安定所) ☎0974-22-8609

## 求人 ハローワーク豊後大野竹田職業相談室 ☎63-1101

- ①事務員 1人 12.8万 ②薬剤師 1人 40万 ③販売員  
1人 13~20万 ④バス運転手 2人 15~18万 ⑤サー  
ビス接客員 3人 13万 ⑥作業員 1人 11.7万 ⑦接客  
係 2人 18万 ⑧一般廃棄物収集員 1人 16.6~18万  
⑨営業員 1人 16~25万 ⑩保育補助 1人 14.4万  
円 ⑪営業員 1人 14.9~34万 ⑫看護職員 1人 17.1  
~21.1万円

[パート求人(時給)]

- ⑬クリーニング作業員 1人 650円 ⑭厨房員 2人 700  
~800円 ⑮夜間レジ・品出し 1人 680円 ⑯書店販  
売員 1人 700~750円 ⑰清掃員 1人 728円 ⑱遊戯  
施設係 1人 700円 ⑲菓子販売員 2人 720~750円  
⑳ヘルパーまたは介護助手 1人 740~1,200円 ㉑タク  
シー乗務員 2人 643~700円 ㉒洗い場係 1人 850  
~938円 ㉓接客係 1人 800~900円 ㉔正・准看護  
師 2人 1,000~1,200円

⑬ 2011年8月発行

## 平成23年度新規大卒者等U・Iターン希望者就職面接会

日時 8月18日(休) 13:00~16:00

場所 トキハ会館5階ローズカトレアの間(大分市)  
※応募者の方は「履歴書」(複数)と「筆記用具」を  
ご用意のうえ、直接会場にお越しください。

●お問い合わせ ハローワークプラザおおいた  
☎097-533-8600

## 「おおいた人材Uターンセンター」登録者・登録企業募集

U・Iターン希望者への県内企業の求人情報の提供  
や就職相談、また、より良い人材を確保したい県内企  
業へ人材情報の提供を行っています。ご利用ください。

◆受付時間 8:30~17:00(土・日・祝日はお休み)

●お問い合わせ おおいた人材Uターンセンター

☎0120-119-201

[URL] <http://www.sorin-oita.or.jp/u/>